

社会福祉法人 長幼会

令和元年度 事業報告書

目 次

1	はじめに	1
2	令和元年度事業報告	1
3	法人本部機能の強化	4
4	事業ならびにその運営状況	5
5	理事・監事・評議員	5
6	理事会の開催状況	6
7	評議員会の開催状況	7
8	各種委員会	8
9	一般経過報告.....	1 2
1 0	すくすく保育園事業報告	1 7
1 1	千丸台保育園事業報告	2 8
1 2	横浜みなとみらい保育園事業報告	3 7
1 3	玉川保育園事業報告	4 8
1 4	新井小学校放課後キッズクラブ事業報告	5 8

社会福祉法人長幼会 令和元年度事業報告

【はじめに】

社会福祉法人長幼会は、平成 12 年 10 月 6 日の設立以降、横浜市都筑区大圃町に「すくすく保育園」を開園後、現在では横浜市内に 3 園、川崎市内に 1 園の認可保育所を有し、放課後キッズクラブの事業運営までに事業がひろがりつつあるなかで、社会福祉法人として果たすべき社会的責任を念頭に、事業運営に取り組んできました。

改正社会福祉法施行から 3 年目を迎えることから、社会福祉法人長幼会としてこれまで取り組んできた本部機能の役割を明確にするとともに、各施設の支援をはじめ経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上に向けた取り組み、財務規律の強化、地域における公益的な取り組み等を更に深化させ、長幼会として持続的発展に向け事業を推進していくことから、次に掲げる重点課題に積極的に取り組んできました。

【令和元年度重点課題】

- 1) 本部による労務人事管理の具現化と各事業への支援
- 2) 人事評価システムの導入に伴う定着に向けた適正運用
- 3) 民営化園への取り組み
- 4) 職員採用に向けた取り組み

I 令和元年度事業報告

(1) 法人運営の持続的発展に向けた取り組み

① 評議員会と理事会の牽制機能の強化

評議員会を議決機関と位置付けたことから、理事会が業務執行に関する意思決定機関として、長幼会の経営に対する相互の牽制機能が働くよう機関の円滑な運営を図ってきました。

② 法人本部機能の強化と部局の設置

長幼会の持続的な発展・成長を維持するためのガバナンスの強化を図るため、本部内にホールディングカンパニーとして法人機能を集約するための機構改革を進めてきましたが、具体的な組織体制の見直しには至らず、引き続き検討を進めていくこととします。

法人本部については、事業・各施設・職員への支援に向けて、改めて職員個々の役割を明確にするとともに、新たに職員を採用するなかで支援を行ってきました。

(2) 事業運営の透明性の向上に向けた取り組み

- ① 閲覧対象書類の拡大に伴い、情報公開の面から法人各事業の情報を迅速かつ円滑に発信できるようハード面の整備として処理能力の高いパソコンを購入し、ソフト量の増大に対する対応を図りました。

・事業報告、事業計画、計算書類、現況報告、役員報酬基準など、公表に係るものについてコンプ

ライアンスの面から速やかに対応してきました。

② ホームページ更新・解析支援ソフトの導入

長幼会の情報公開の一助を担うホームページについて、使い勝手の良い内容に修正を加えることで、都度、新しい情報内容の更新が図れるようにすることから、(株)グローバルゲートのホームページ更新・解析ソフトを導入することとし、契約を締結しました。

今後は、本部、すすく保育園でのオリジナルデザインのホームページ作成として、フォーマット（10 頁）を先行作成し、各園の作成に繋げていくこととします。

③ 広報誌の活用等については、採用関係の媒体（ビズリーチや求人ドットコム等）との契約を必要に応じて都度対応してきました。

④ 第三者評価の定期的受審と事業所の自己評価を進め、法人ホームページで公開しました。

(3) 財務規律・基盤の強化

社会福祉法人会計基準に基づく会計処理を税理士法人（アイ・パートナーズ）に委託し、連携を図りながら月次における監査において、各施設の会計処理及び次月以降の収支予測等支援を行うとともに、改正等に伴う関係諸規程の見直しと運用の徹底を図ってきました。

- ・経理規程の遵守 ～ 適正かつ公正な支出管理の確保、会計処理を行ってきました。
- ・予算管理の徹底 ～ 月次の状況を踏まえ、各施設の収支予算管理を支援してきました。
- ・役員報酬基準に基づく適正な支払及び処理に努めてきました。

(4) 地域における公益的な取り組みの推進

地域における公益的な取り組みについては、「社会福祉充実残額」の無い法人にも求められていることから、改めて法人の現在の取り組みを振り返りつつ、1) 社会福祉事業または、公益事業を行うに当たって提供されるサービス、2) 日常生活または、社会生活上の支援を必要とする者に対する福祉サービスであること、3) 無料または、低額な料金で提供されること等、法人として検討してきましたが、結論を得るまでには至りませんでした。今後も社会福祉充実計画の策定に向けた検討を進めていくこととします。

(5) 新たな事業の開拓に向けた取り組みの推進

① 横浜市立保育所民間移管事業法人募集への応募及び結果について

横浜市が進める市立保育所の民間移管予定の4園について、令和3年4月1日に移管運営法人による開園が決まり、移管先法人の募集とスケジュールが示されたことから、法人として地域における社会貢献を念頭においた事業を推進することとし、今回、民間移管予定として示された「茅ヶ崎保育園」と法人が運営する「すすく保育園」との姉妹園を運営することにより、より良い保育の相乗効果が見込めるほか、経営基盤の強化にもつながること、さらには地域の社会福祉の充実に向けた取り組みにもつながるとの判断から、横浜市立民間移管保育事業募集へ7月24日に応募資料を提出してきました。

書面審査、実地調査による一時選考において最終面接の8法人に選定され、11月5日に最終面接

に臨みましたが、11月28日（木）こ保運2852号により、「横浜市立保育所民間移管にかかる法人選考委員会」における厳正な審査の結果、選考漏れとなったことの通知が届き、運営法人としての選定には至りませんでした。この結果については、12月23日開催の第2回評議員会で報告し、承認を得ました。

- ② 地域型保育事業における連携施設としての可能性については、茅ヶ崎保育園運営法人応募動機に含めて検討してきました。

(6) 職員の資質の向上・定着に向けた取り組み

法人の理念や目的を遂行し、事業を円滑に運営していけるか否かの鍵は、法人で働く職員（保育者）個々の資質にあることを基本に、人財育成の観点から職員個々の資質の向上、モチベーションの維持・向上に向けた人事労務管理の手法として、今年度より導入した人事評価制度が円滑に運用され、定着するように支援を行ってきました。しかし、導入初年度でもあり仕組みに対する理解の面で運用に課題を残す結果となりました。

① 自己観察書・観察指導記録に基づく人事評価の定着に向けた取り組みの推進

人事評価システム導入初年度として、自己観察書・観察指導記録に向けた年2回の個人面接時に人事考課表に基づく目標の確認を職員・上司双方で行い、処遇に反映してきました。

② やりがい、働きがいのある法人を目指す取り組み

職員の定着に向け、やりがい、働きがいのある法人を目指すこと、また、職員個々の資質を向上し、法人が目指す「思いやりのあるたくましい子の育成」に向けた人材育成に取り組んできました。

③ 福利厚生制度の充実

- ・職員の将来設計に向けた、人事処遇制度の検討
- ・保育士宿舍借上げ支援制度に伴う借上げ社宅の適正運用を図るとともに、職員の入居の利便性を図ることから、業者と連携し賃貸物件の閲覧サービスを行ってきました。
- ・既存加入の総合福祉団体定期保険・新医療保障保険とは別に、保障内容がより手厚く被保険者の請求手続きもより簡便な損害保険制度の導入に向けた検討を進めてきました。
- ・余暇の有効活用に資する施設との法人契約に向け取り組んできましたが、具体的な契約までには至りませんでした。
- ・育児休業等に関する規程について、神奈川労働局のアドバイスを受け、見直しを図ってきました。

④ 年次有給休暇の新規発生日の統一

働き方改革関連法に基づき年次有給休暇の計画年休5日が規程化され、年次有給休暇の新規発生日時が個々人で異なることから個人への休暇取得への働きかけや管理の面からの煩わしさの軽減を図ることから4月1日に統一しました。

また、新規採用者における採用後6か月を経過しないと年次有給休暇が付与されないことの空白期間を埋め、安心して勤務ができるよう年次有給休暇の付与を採用時5日、半年後に5日に運用を変更しました。

⑤ 処遇改善等加算Ⅱ・職員処遇改善費の円滑な運営

職員の処遇改善に向け、行政市に対する申請、職員のキャリアアップ研修など保育士処遇改善等加算に関する規定に基づき職員個々のキャリアステージに応じた対応を図りました。

また、処遇改善等加算Ⅰの支払いについては、月の支払額を増額し、月例賃金水準を引き上げることとし、一時金での支払額を逡減することとしました。

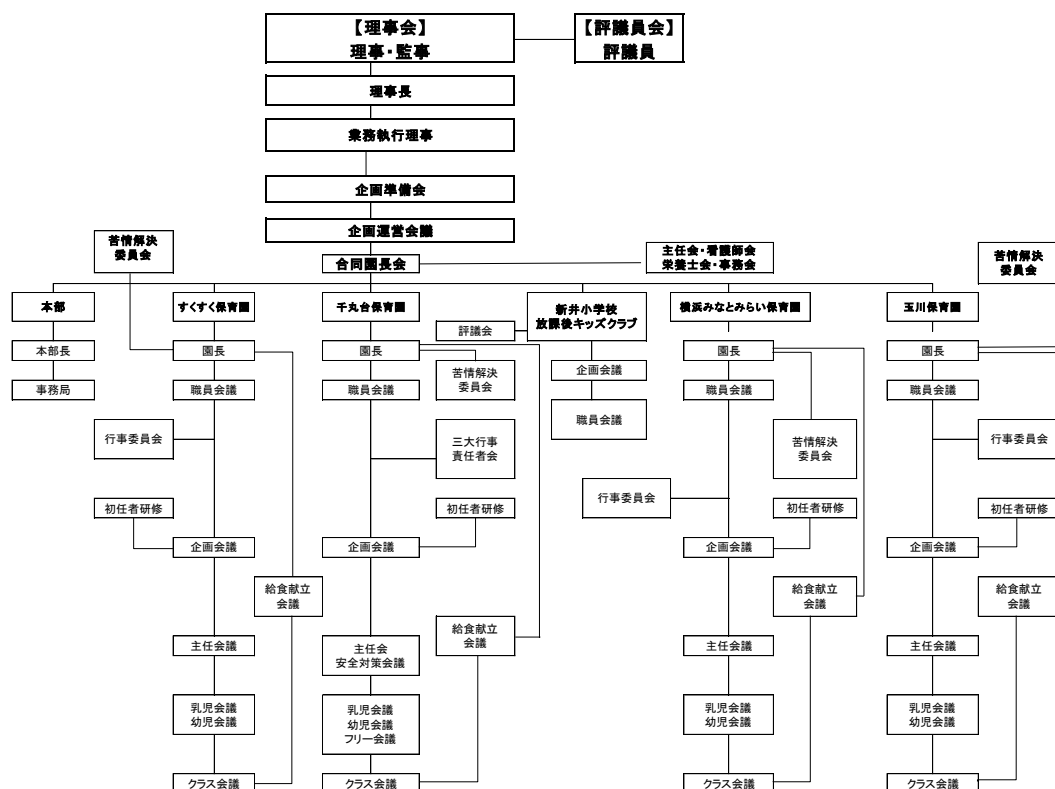
Ⅱ 法人本部機能の強化

法人本部を設置して2年目となる今年度は、法人内における各事業体との連携を図ることに腐心して取り組んできました。

本部としては、法人全体を俯瞰した1)各事業の計画的な進行管理を行う。(各事業、施設の運営支援と管理監督等)、2)収支状況等の課題や、サービス提供等の事業運営上の課題について、現状だけでなく、起こりうるリスクを含めた具体的な情報を外部(国、市区町村、福祉医療機構、社会福祉協議会等)や法人内の各事業部門から収集し、分析すること。また、その結果について考えられる対応策を含め、理事長や理事会に報告、判断を求める。3)複数の施設、事業を運営していることから、全施設・事業の経理、総務、人事を将来的には集約し、より透明性のある事業運営を目指すことから事業の円滑な推進と各事業の支援に取り組みましたが、マンパワー不足を補うまでには至らず、今後課題を残すこととなりました。

社会福祉法人長幼会 組織図

平成31年4月現在



*会議等の性格(目的)・内容・運営等については、各園の運営全体計画に記載されています

Ⅲ 事業ならびにその運営状況

定款の定める法人事業目的達成のため、保育所並びに放課後キッズクラブを運営してきました。

令和元年度の特徴は、法人本部としての役割を機能させることに腐心し各事業への支援を行いつつガバナンスの強化に努めてきました。また、地域における社会福祉の拠点として横浜市立保育所の民間移管運営法人として応募し、法人が持つリソースの有効活用を目指してきました。

法人の事業を遂行するための職員については、慢性的な職員の不足がみられることからハローワークへの求人募集はもとより、所轄庁が主催する保育士採用ブースへの参加や、求人媒体の積極的な掲載等を進めましたが、充足率を満たすまでの採用にはつながりませんでした。

施設内整備としては、各園の経年劣化に伴う不具合が建物・設備、園庭遊具で生じていることから安全面を優先し、修繕を行うとともに園庭遊具の更新等を行ってきました。とくにすくすく保育園では、築 19 年を経過することから外壁・防水修繕工事、子どもの安全面からの園庭ラバー工事、千丸台保育園は統合園庭遊具「グリーングリーン・ファーム」を設置しました。

【年間施設利用状況】

施設名	利用状況			
	定員	1日平均利用者数（人）	年間利用者数（人）	年間利用率（％）
すくすく保育園	60	53.1	15,385	88.4
千丸台保育園	100	71.2	20,640	71.2
横浜みなとみらい 保育園	120	99.7	28,914	83.1
玉川保育園	135	100.6	29,160	74.5
新井小学校放課後 キッズクラブ	78	75.1	21,479	96.3
計	493	399.6	115,578	---

☆年間開所日数 保育園 290日：キッズクラブ 286日

Ⅳ 理事・監事・評議員

令和元年度の理事（6名）、監事（2名）、評議員（7名）は次の通りです。

理事長 水野 恭一

業務執行理事 水野 尊仁

理事 林 浩子 相原 陽子 木下 かおり 小林 純子

監事 佐野 忠昭 太田 正行

評議員 高橋 今朝次 栗原 泰光 箕輪 高博 八木下 和雄

田中 千津子 澤 信一 田中 香南江（6月20日就任）

※退任評議員 飯田 嘉雄（令和元年6月20日）

V 理事会の開催状況

定款第5章に定める各条項に基づき、下記の理事会を開催しました。

(1) 第1回理事会 令和元年 6月 4日(火) 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： (全役員8名出席)

理 事： 6名

監 事： 2名

法人職員： 2名

議 事： 第一号議案 平成30年度事業報告に関する件

第二号議案 平成30年度決算並びに監事監査報告に関する件

第三号議案 長幼会役員任期満了に伴う役員の選任にする件

第四号議案 定時評議員会の開催日時・議題に関する件

第五号議案 評議員の辞任に伴う評議員候補者の確認に関する件

第六号議案 横浜市立保育所民間移管事業法人募集への応募に関する件

報 告 事 項 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

障害者雇用納付金の支払いについて

社会福祉法人向け役員損害賠償責任保険の継続契約について

(2) 第2回(新1回)理事会

令和元年 6月20日(木) 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： (全役員8名出席)

理 事： 6名

監 事： 2名

法人職員 2名

議 事： 第一号議案 理事長の選定に関する件

第二号議案 業務執行理事の選定に関する件

(3) 第2回理事会 令和元年 9月24日(火) 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

※理事会招集及び決議省略の手続きに基づく理事会

出席者数： 8名(理事全員の同意・監事全員の異義なし)

理 事： 6名

監 事： 2名

法人職員： 1名

議 事： 第一号議案 令和元年度神奈川県最低賃金改定に伴う時給見直しに関する件

第二号議案 年次有給休暇の新規発生日数の統一に関する件

報 告 事 項 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

茅ヶ崎保育園民間移管に伴う応募進捗状況について

幼児教育・保育の無償化に伴う食材費の取り扱い変更について

第1回理事会議事録の確認（令和元年 6月 4日開催）

(4) 第3回理事会 令和元年12月 6日（金） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

理 事： 6名 （全役員8名出席）

監 事： 2名

法人職員： 1名

議 事： 第一号議案 令和元年度補正予算（案）に関する件

第二号議案 すくすく保育園第二期修繕工事に関する件

第三号議案 令和元年度第2回評議員会の招集に関する件

報 告 事 項 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

横浜市立保育所民間移管運営法人選考結果について

社会福祉法人長幼会創立20周年記念式典について

障害者雇用納付金の追徴支払について

第2回理事会議事録（9月24日開催）の確認について

(5) 第4回理事会 令和2年 2月27日（木） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

※理事会招集及び決議省略の手續きに基づく理事会

出席者数： 8名（理事全員の同意・監事全員の異義なし）

理 事： 6名

監 事： 2名

法人職員： 1名

議 事： 第一号議案 令和2年度事業計画（案）に関する件

第二号議案 令和2年度予算（案）に関する件

報告事項： 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

新井小学校放課後キッズクラブ運営継続について

社会福祉法人長幼会創立20周年記念式典について

第3回理事会議事録（12月6日開催）の確認

VI 評議員会の開催状況

定款第3章に定める各条項に基づき、下記の評議員会を開催しました。

(1) 定時評議員会 令和元年 6月20日（木） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数：12名

評 議 員： 8名 （新：田中 香南江評議員出席）

監 事： 2名

理 事： 2名（理事長・業務執行理事）

法人職員： 2名

議 事： 第一号議案 平成30年度事業報告承認に関する件
第二号議案 平成30年度決算及び監事監査報告の承認に関する件
第三号議案 社会福祉法人長幼会役員承認に関する件
第四号議案 評議員の辞任に伴う新評議員の選任に関する件
第五号議案 横浜市立保育所民間移管事業法人募集への応募に関する件
その他 (一般経過報告)

理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

第3回評議員会議事録の確認

(2) 第2回評議員会 令和元年12月23日(木) 於：仲町台「源八」

出席者数：11名(全評議員7名出席)

評 議 員： 7名

監 事： 2名

理 事： 6名(理事長・業務執行理事・理事)

法人職員： 2名

議 事： 第一号議案 令和元年度補正予算(案)承認に関する件
第二号議案 すくすく保育園第二期修繕工事に関する件
その他 (一般経過報告)

理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

横浜市立保育所民間移管法人選考結果について

社会福祉法人長幼会設立20周年記念式典について

障害者雇用納付金の追徴支払いについて

定時評議員会(第1回)議事録確認

Ⅶ 各種委員会

令和元年度事業計画を遂行するため、下記委員会を開催して円滑な事業運営に努めてきました。

なお、令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から「3密」を防ぐために2月以降、諸会議の開催を自粛してきました。

(1) 企画準備会

理事長の諮問機関として、日常的な課題はもとより、短期・中期に及ぶ課題の抽出や法改正に伴う諸規程類の制定・改正の検討を進め、毎月の企画運営会議の円滑な議事進行に努めることを目的に月2回(第一火曜日、第三火曜日)を基本に年14回開催してきました。

(2) 企画運営会議

法人の理念・方針等基本的考えの共通理解を図り、管理者の意思統一を図る場として、法人の事業

全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について審議するとともに、理事会への提出議案や報告事項の確認の場として、毎月定例的に開催することを基本に今年度は 11 回開催してきました。

(3) 合同園長会

法人各事業所（四つの保育園）の円滑な運営及び各種の連携を図ることから、各事業所の課題、企画、イベントなどを持ち寄り、より良い保育を目指すことから相互の保育所運営に反映する場として今年度は9回開催してきました。また、管理職研修として日常の園務から生じる課題を研修テーマに掲げ、解決に向けた手法を学ぶことにより、リーダーとしての自覚と資質向上に努めてきました。

＜主な研修テーマ＞

- ・ 人事評価制度の仕組みと運用について
- ・ 職場におけるハラスメント防止について
- ・ 働き方改革「ジョブ・ディスクリプション」について
- ・ 各種施策の実施に向けた工程の考え方について（6W1Hの確認）
- ・ メンター制度に学ぶ職員相談対応について

(4) 合同主任会議

各園の保育に関する事項や行事・研修等の連絡調整を図るとともに、保育主任としての共通理解を踏まえる場として年7回開催してきました。

第1回 平成31年 4月15日（月） すくすく保育園

- ・ 合同研修グループディスカッションの一題を研修
- ・ 合同研修実施に向けての取り組み（役割分担・実施要項他）
- ・ 近況報告

第2回 令和元年 5月16日（木） 横浜みなとみらい保育園

- ・ 4園合同研修会の反省と次年度に向けて
- ・ 研修「主任の在り方・園長の補佐について」
「危機管理（大津・散歩中の事故を通して）」
- ・ 各園近況報告
- ・ 行事研修について

第3回 令和元年 6月17日（月） 玉川保育園

- ・ 合同研修会について（各園のまとめ・今後の課題について等）
- ・ 行事研修について（最終確認）
- ・ 各園近況報告
- ・ その他 職員との面接について ・プール遊びについて

第4回 令和元年 9月19日（木） 横浜みなとみらい保育園

- ・ 研修 自園でのチームワークづくりで大切にしていることは
チームワークとは
チームワークの課題と解決方法
- ・ 各園近況報告

第5回 令和元年 11月15日（金） 横浜みなとみらい保育園

- ・ 研修 自己観察概要の確認

自己観察書の一次評価者のコメントについて
観察指導記録簿の記入について

- ・各園の近況報告

第6回 令和2年 1月22日(水) すくすく保育園

- ・人事評価制度の目標達成と今後の課題
- ・各園の近況報告
- ・来年度の年間行事予定の再度確認
- ・歓送迎会につて

第7回 令和 2年 2月12日(水) すくすく保育園

- ・職位階層(キャリア)別に求められる資質について
- ・各園の近況報告
- ・来年度の職員研修について

(5) 合同看護師会

各園の感染症発生状況の把握、保健業務内容等の情報交換をはじめとし、園児、保護者、職員の健康促進のために保健的な見地からの援助・指導に反映することを目的に、年2回開催してきました。

第1回 令和元年 6月24日(月) 14:30~17:15 横浜みなとみらい保育園

- ・各園の感染症発生状況について
- ・各園の事故発生状況について
- ・その他 意見交換
 - プール活動について(入水前のお尻洗いについて)
 - 血液で汚染された衣類等の取り扱いについて
 - 睡眠時のチェック表について
 - 熱症の対応について

- ・職員研修について
- ・保健指導の紹介

第2回 令和元年 10月28日(月) 14:30~17:15 横浜みなとみらい保育園

- ・各園の感染症発生状況について
- ・各園の事故発生状況について
- ・その他意見交換
 - 衛生管理者について
 - 今年度のプール入水前のお尻洗いについて
 - 受診の付き添いについて
 - 健康記録について

(6) 合同事務会議

各事業所における会計及び事務処理手続きの課題や法対応に絡む手続き等の共通理解を深め、会計処理や事務処理を円滑に進めるための場として年6回開催してきました。

第1回 平成31年 4月18日(木) 15:00~17:00 横浜みなとみらい保育園

- ・前回事項(給与明細の保存について)
- ・年休の年5日取得義務化について

- ・借り上げ宿舎について

- ・各園より ・その他

第2回 令和元年 6月21日（金） 15:00～17:00 玉川保育園

- ・前回事項（年休消化表）について

- ・各園より ・その他

第3回 令和元年 8月27日（金） 15:00～17:00 玉川保育園

- ・前回事項（年休消化表）について

- ・弥生給与集計表の明細項目について

- ・各園より ・その他

第4回 令和元年 10月16日（水） 15:00～17:00 玉川保育園

- ・前回事項（年休発生日の統一について）

- ・年休管理について

- 管理職の年休について

- 休暇承認簿について

- 年休管理簿について

- 時間休の繰り越しについて

- 出勤率8割未満の年休付与について

- 非常勤職員の半休、時間休について

- ・各園より ・その他

第5回 令和元年 11月25日（月） 14:00～16:00 千丸台保育園

- ・前回事項（年休管理について）

- ・年休管理表について

- ・各園より ・その他

第6回 令和 2年 2月21日（金） 14:00～16:00 すくすく保育園

- ・年休更新日 統一について

- ・保育給付費について

- ・団体保険加入・脱退の申請書について

- ・各園より ・その他

(7) 合同栄養士会議

安全かつ衛生的な食事作りを基本とし、各園での取り組み情報を共有するとともに問題点や改善事例について意見交換し、給食提供に反映してきました。今年度は2回開催してきました。

第1回 令和元年 6月12日（金） 15:00～17:00 千丸台保育園

- ・近況報告

- ・わんぱくランチの使用状況と情報交換

- ・パソコンのアドレスの状況（献立配布にパソコンか FAX）

- ・その他

第2回 令和元年 10月 7日（月） 15:00～17:00 横浜みなとみらい保育園

- ・近況報告

- ・わんぱくランチについて

- ・災害時の非常食について（玉川保育園より）

- ・連休中の献立について（玉川保育園より）
- ・その他 異物混入があった時の対応について
保育料無償化について
遠足時のおやつについて
お誕生日のケーキについて

Ⅷ 一般経過報告

(1) 元号改正に伴うゴールデンウィーク中（10連休）における一時預かり事業への対応について

横浜市こども青少年局保育・教育運営課より依頼のあった天皇即位の日及び即位礼殿の儀に伴う、4月28日（日）から5月6日（月）にかけての10連休における保護者からの保育ニーズがある場合の認可保育所での一時預かりについて協力要請があり、社会福祉法人長幼会として協力していくことを確認しました。

以降、各園で行政区との調整を経て保護者への案内をし、利用申し込みのあった、すすく保育園、横浜みなとみらい保育園で一時預かりを実施しました。

(2) 役員改選について

役員の任期満了（R1.6.20まで）に伴う役員の改選に伴う候補者については、法改正に伴う組織作りが緒についたばかりであり、組織のガバナンスを維持していくことから各園施設長の登用が望ましいとの結論に至り、理事会として6月20日開催の定時評議員会に諮り、承認を得ました。

(3) すくすく保育園外壁屋上他大規模修繕工事について

すすく保育園は築19年を経過し、建物診断の結果劣化度がギリギリであるとの診断結果を得ました。これ以上、修繕時期を延ばすことは修繕が不可能になり建て替え、取り換えという事態にもなりかねず費用も嵩むことも懸念されることから、今年度内に修繕を行うことを確認し、業者に見積依頼を行い、提出頂いた3社のうち安価であった(株)紅梅組に発注することとしました。

工事打合せの結果、子どもの安全を第一にする工事日程とし、Ⅰ期工事の進捗を見極めつつⅡ期工事を進めることとしました。

なお、修繕工事費用は修繕積立金の取り崩しで対応することとしました。

- ・第Ⅰ期修繕工事：10月6日から外壁修繕工事を実施し、11月29日に完工しました。
- ・第Ⅱ期修繕工事：令和2年1月14日から屋上防水・園庭ラバー工事を実施し、2月21日完工しました。

(4) 横浜パートナー法律事務所との顧問契約について

法人や園に関わる諸問題（事案）は、当該部署だけで解決できるものではなく、専門家の意見を取り入れながら対応しなければ解決しない事案も多く生じてきています。とりわけコンプライアンス遵守の面からは国の根拠規定と法人諸規程の解釈の違いによる対応の問題や、ハラスメント対応など多岐にわたっており、関わり方を誤ることは、法人・園の遺失利益にもつながるとの認識のもと、法人として横浜パートナー法律事務所と顧問契約を結び、法律に関わる諸課題を顧問として対応頂くこと

としました。

主な業務：・法律問題のアドバイス（電話、電子メール、ファックス、面談による回数制限等なし）

- ・法律問題について相手方との交渉
- ・簡単な契約書の作成審査
- ・従業員への法律相談
- ・横浜パートナー法律事務所が開催する法律セミナーへの無料参加
- ・法律情報の定期的な提供
- ・警察への刑事告訴

顧問料：月額 50,000 円（税抜き）

期 間：契約締結日から 6 か月とし、期間満了後は、いずれかの当事者が更新を拒否しない限り 1 か月ごとに自動更新するものとする。

法律事務所 横浜市中区日本大通 7 日本大通 7 ビル 8 F

弁護士法人 横浜パートナーズ法律事務所

弁護士 大山 滋郎 （弁護士 石崎 冬貴）

(5) 放課後キッズクラブの再選定にかかる準備について

放課後キッズクラブについては、職員不足の現状下で令和 2 年度の運営に向けた職員体制が確保できるか、また、新入学児の減少による単年度補助金の減少及び再選定に向けて職員のモチベーションの維持など危惧される運営課題が多く、令和 2 年度の体制を確保したうえで、本部としての支援の在り方も含めて検討してきました。再選定に向けた環境整備を整えることから担当者面接を含めて主任・副主任の人事を決定、本部から事務職員を派遣するなどの対応を企画会議で確認し、支援員への説明の後、保土ヶ谷区役所に放課後キッズクラブ運営法人として運営継続する旨の意思表示をしました。

また、本部の支援体制として本部事務職員を採用し、キッズクラブとの業務を兼務しつつ支援するとともに、主任・副主任の業務を見直すなかで勤務時間を 8 時間とし、庶務業務の軽減を図ることとしました。

(6) 令和元年度一般指導監査について

①一般指導監査

- ・玉川保育園 令和元年 11 月 18 日（月）9：00～16：30

*指摘事項：就業規則については、関係事業所一覧にての確認が必須であることから一覧表への記載がない場合は、所轄の労働基準監督署に届け出ること。

- ・横浜みなとみらい保育園 令和元年 11 月 20 日（水）9：00～12：30

*指摘事項：特になし

②令和元年度書面監査

- ・すくすく保育園、千丸台保育園は書面对象監査として、12 月までに関係書類を滞りなく横浜市こども青少年局総務部監査課に提出してきました。

(7) 幼児教育・保育の無償化に対する取扱いについて

2018 年 8 月法案で「今後の消費税増税分は全額社会保障費（年金・医療・介護・子育て）に充てる」ことを決定し、2019 年 10 月実施予定の消費税率 8 % → 10%（増収分 5 兆円強）のうち 2 兆円程度を「幼児教育・高等教育の無償化」へ充当する。

3～5 歳児クラス（2 号認定）の保育料が小学校就学前の 3 年間は無償（5 歳児クラスの満 6 歳児も対象）となり、副食費を主食費と同様に実費徴収することとなった。これにより施設が徴収していた費用と同様に保護者の同意を得る必要があることから、保護者に対し「幼児教育・保育の無償化に伴う副食費徴収のお知らせ」を配布し、周知を図ることとしました。なお、副食費については、保育料の一部として保護者に月額 4,500 円の負担を求めてきた経緯もあり、各施設で徴収する金額については月額 4,500 円を目安としました。

(8) 横浜みなとみらい保育園税務調査

横浜中税務署による平成 28 年度から調査時点までの所得税に係る源泉についての調査が 9 月 5 日（木）、11 日（火）に実施され、法人として税務関係を委託しているアイ・パートナーズの協力を得て対応してきました。

結果、令和元年 12 月 24 日付、横中源 100 号にて、国税に関する実地調査を行った結果、更正決定等をすべきと認められない旨の通知が届き、過不足なく収束しました。

(9) 神奈川県最低賃金引上げに伴う時給改定について

2019 年度神奈川県最低賃金の引上げ（10 月 1 日実施予定）に伴う時給 1011 円に対し、検証を行い、結論として、

①今回の最低賃金改定における基本給額の改定は見送る。

②非常勤職員の時給については、最賃 1,011 円に対し、1,000 円と下回っていることから、非常勤職員（パート・アルバイト）の無資格者は 1,030 円、有資格者は 1,110 円とし、30 円の引上げを行う。

こととし、時給改定者については、雇用契約の再締結はせず、10 月 1 日付辞令をもって実施しました。

(10) 園庭等における空間放射線量の測定

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により発生した福島第一原発の事故を受けて、各施設においてはマイクロスポットとなる可能性のある場所を緊急的に清掃し、土、砂、枯れ葉等の集積物を取り除き安全性を確認してきました。しかし、以降の安全性確認が必要とのことで、平成 23 年度時点で運営をしていた保育所を対象に、園庭等の放射線量率の測定を横浜市による委託業者により、すくすく保育園・千丸台保育園・横浜みなとみらい保育園において実施されました。結果、各保育所とも測定箇所全てにおいて基準値（環境省基準 1cm/0.59μSv/h 50cm/0.23μSv/h）以下であり、問題のないことが確認されました。

(11) 台風 19 号の接近に伴う 10 月 12 日（土）の 4 園閉園について

台風 19 号の接近に伴う対応について、横浜市こども青少年局、川崎市保育調整管理課より 10 日に通知が発出され、12 日（土）については原則開園とするも、児童を安全に保育できない状況も考えられることから、鉄道の計画運休や交通状況、保育士確保が困難な場合は、保護者に対して登園自粛の

協力や早目の降園の協力依頼を行い、各保育園における 11 日（金）、12 日（土）の対応趣旨について園メール、お知らせ配布・掲示を行い保護者に周知を図りました。

結果として、11 日閉園時まで 12 日（土）の利用者はゼロであったことから 4 園について閉園することとしました。

(12) **令和元年度第 1 回横浜市保育士就職面接ブースへの出展について**

第 1 回就職面接会に法人として、本部 1 名 園長 1 名 主任保育士 1 名で参加してきました。

日時：令和元年 12 月 1 日（日）13：00～16：00

場所：横浜市技能文化会館（中区万代町 2 丁目 4 番地 7）

＊法人ブースに来訪した求職者は 3 名で、うち 1 名が後日千丸台保育園への見学につながりました。



（長幼会展示ブース）

(13) **社会福祉法人長幼会 創立 20 周年記念式典について**

社会福祉法人長幼会は、平成 12 年 10 月 6 日の設立以降、来年、創立 20 周年を迎えることから記念事業を行うことを理事会で確認し、職員全員参画をコンセプトに創立 20 周年を通過点として、さらなる発展に向けた礎の会と位置づけ取り組むことを基本に、以下の内容について企画立案を進めてきました。

日時：令和 2 年 11 月 15 日（日） 16：30～19：30

場所：ロイヤルホールヨコハマ

☆具体的な進め方は準備委員会を発足し、具体的な事業内容の検討を進めることとしました。

(14) **障害者雇用納付金について**

当法人では障害等級 1 級の方を採用していますが、国による平成 26 年 4 月の障害等級の見直しにより平成 26 年以降に障害認定を受けた者は 3 年以内に再交付のための見直しが義務付けられ、その結果、障害者雇用が 3 級に認定されました。したがって、障害者雇用促進法に基づく、障害者雇用率（2.2%）が未達成になり、平成 31 年（令和元年）分として、障害者雇用納付金 460,000 円を 5 月 15 日に独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構納付金部に納付しました。

また、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構による実地調査が 9 月 25 日（水）に実施され、平成 30 年度の常用雇用労働者数の集計に齟齬があったことから修正申告をし、追徴金を支払うこととなりました。

(15) **ストレスチェックの導入**

常時雇用する労働者（50 人以上）に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査の実施を事業者が義務付ける。（労働者 50 人未満の事業者については当分の間努力義務）との改正安衛法に基づき合同看護師会で検討を進め、職員の心理的な負担を図り、適切なケアを行うことは、とりわけ保育業務において必要なこととの結論に至り、50 人以上の職員を抱える横浜みなとみらい保育園でのストレスチェックを導入しました（依頼業者：ベネフィットワン・ヘルスケア）。

なお、50人未満の他園については、努力義務の範囲で取り組むこととしました。

(16) 新型コロナウイルス感染症感染防止に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染症感染防止に向け、国・所轄庁の通達に基づき法人・園として緊急時における保育園運営について当面の対策を策定し、子どもの安全を第一に考え、利用者数に対応した職員シフトの作成、日々の柔軟な勤務体制等を図りつつ職員の協力を得る中で保育園運営を進めてきました。

しかし、一方、新型コロナウイルス感染症の感染防止としての3密を避ける方針や外出の自粛要請等、収束も見極めきれない中で、保育を維持していく職員個々の事情に応じて不安も募りつつあることも理解したうえで、このような職員の不安を少しでも解消し、法人職員それぞれが自分の持ち場で、できることを、できる限りやり、少しでも多くの職員が何らかの形で救われることを基本に、子ども、保護者、そして職員の健康と命を守り、園の機能維持を図りながら保育園運営を進めてきました。

こんな人を探しています！

「優しさ」「感受性」「自発性」
こういったことを大事に思える
ような育成を心がけております。
「先生大好き」と言ってもらえたり
「小さな成長」に喜びを感じたり、
そいった事に喜びを感じることが
でき、温かい気持ちで見守って
下さる方を募集中です。

職場の雰囲気

若手からベテランまで幅広い
層が活躍しています。職員間の
コミュニケーションが活発に行われ
ているので、安心して保育に取り
組むことができます。職員の中には一度
別のお仕事をしてから再度保育のお仕
事に戻った方やブランクのある方など
経歴は様々、でも、職員一人ひとりが
思いやりの心を持って接する
ことで、笑顔の絶えない
職場です。

やりかいは・・・？

何事に対しても一生懸命に
取り組み、子ども達と過ごすこと
で、日々の何気ない日常が特別に
なります。豊かな愛情をもって、
思いやりのあるたくましい子の育成
に向けて、日々汗を流してい
ます。これまでの経験や経緯
にとらわれず、あなたの夢
をかなえてみませんか！

理事長挨拶



理事長 水野 熱一

当法人は、子どもの人権や主体性を尊重し、保護者と一体になり
心身ともに健康な児童を育てることを目標に、児童の最善の幸福の
ために利用者及び地域と協力し、児童福祉を積極的に推進すると
ともに地域の子育て支援に力を尽くしていきます。そのために職員は
豊かな愛情を持って児童に接し、児童の最善の利益を尊重するた
めの知識と技術の向上に日々研鑽を続けてまいります。

長幼会の保育の方針

長幼会は、地域や利用者から愛され、信頼される保育園作りを
目指しています。職員個々が子ども一人ひとりの存在を認め、こ
どもの気持ちや求めることを柔軟に受け止めることが大切だと考
えています。日常の保育の中で何事に対しても一生懸命に取り組
み、豊かな愛情と情熱を持って『思いやりのあるたくましいこ
どもの育成』に向けて日々汗を流しています。

各園
紹介

すくすく保育園

(長幼会本部・事務所)

所在地 〒224-0027 横浜市 都筑区 大瀬町 74-12
TEL 045-595-0415 FAX 045-595-0416
e-mail sukusuku-hokuen@tmtv.ne.jp

環境 法人設立の趣旨、目的の基に設立された本園は、港
北ニュータウンに隣接し、晴れた日は富士・丹沢の
山並みが望まれ、近くには都筑区の中心地の高層ビ
ル群が見える清らかな環境にあります。
また、隣接して理事長経営の水野クリニック（内科・小児科）、おひさま病児保育室、介護
老人福祉施設「都筑ハートフルステーション」、高齢者グループホーム「横浜はつらつ」が
あります。この環境を子育て支援、老人福祉に役立てることが地域社会への貢献と考え、
平成13年4月1日に開所しました。

千丸台保育園

所在地 〒240-0053 横浜市保土ヶ谷区新井町356-3
TEL 045-381-2898 FAX 045-381-2908
e-mail senmarai-hoku@wakwak.com

環境 本園は千丸台団地の入り口付近にあり、四季を通して、
桜や緑の木々が美しく、見晴らしの良い広い園庭に
平屋建ての明るい建物が可愛く見えます。
緑地・加圧に隣接し、足を延ばすと広々とした公園が
あり、豊かな自然に恵まれた環境にあります。
平成17年4月1日、横浜市より移管を受け社会福祉
法人長幼会「千丸台保育園」として開所しました。

横浜みなとみらい保育園

所在地 〒220-0011 横浜市西区高島2丁目7番地1号
ファーストプレイス横浜302
TEL 045-450-6305 FAX 045-450-6315
e-mail yokohama-mmr-jimu@bz03.plala.or.jp

環境 本園は、横浜駅東口から徒歩4～5分の高層マンシ
ョンの3階にあります。入居利便性の良い位置にありな
がら、園庭も備えられ、徒歩圏内に多くの公園もあり、
わずかな自然に触れることもできる恵まれた環境に
あります。平成20年4月1日 社会福祉法人長幼会
「横浜みなとみらい保育園」として開所しました。

玉川保育園

所在地 〒211-0015 川崎市中原区 北谷町 61番地
TEL 044-555-1778 FAX 044-555-1779
e-mail yokukawa-enyokukai@yahoo.co.jp

環境 本園は、JR南武線・平間駅に隣接した住宅地の中
にあるといえ、周囲には四季折々の花が咲いている
緑地や、足を延ばすと多摩川の水辺の緑地が広がる
自然豊かな環境の中にある可愛い丸窓の保育園です。
平成24年4月1日に川崎市より移管を受け、社会
福祉法人長幼会玉川保育園として開園しました。

(令和元年度法人パンフレット)

16



令和元年度 すくすく保育園 事業報告

定員 60名 (在籍 72名)

1 施設運営状況

保育目標である「思いやりのあるたくましい子の育成」に向け、今年度も職員を核として、保護者・隣接する都筑ハートフルステーションや地域の方々との連携を図りながら令和元年度の運営を行ってきました。

年度当初より、入所児童数が安定していたことや待機児童解消から、定員を超える受け入れ（定員の20%以内：弾力化）となりましたが、落ち着いた状況の中で運営することができました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	35	36	36	36	37	38	40	40	40	40	40	40	458	38.2
女児	33	34	34	34	34	34	32	32	32	32	32	32	395	32.9
計	68	70	70	70	71	72	72	72	72	72	72	72	853	71.1

【年間利用者状況推移】（各年度 3月1日）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成24年度	10	13	13	14	13	12	75
平成25年度	10	12	13	13	14	13	75
平成26年度	10	12	13	11	13	14	73
平成27年度	10	12	13	13	13	13	74
平成28年度	10	12	13	13	13	14	75
平成29年度	10	12	13	13	13	13	74
平成30年度	10	12	13	13	11	13	72
令和元年度	10	12	13	12	13	12	72

令和元年度は横浜市立保育園の民間移管の応募に伴い、当園が中心となり提出資料や実地調査へ向けての取り組みを行う中で、保育所保育指針に基づいた、日々の保育の振り返りを行うことができました。また、2月には5年に一度の第三者評価を受審し、外部の方の違う視点で見ていただけたことで、園としての強みや弱み等、新たな気付きもあり、課題点の見直しを行う中でより安全で安心な保育運営につなげていけるよう努めてきました。

今年度も在籍職員が年齢階層別にも広がりを見せていることや育児短時間勤務職員、非常勤職員がいる中で、情報の共有を図るために、各種会議・昼の時間のミーティング・連絡ノート等の活用や必要に応じて、周知の場を設定し内容の共通理解と周知を行ってきました。

5月の大型連休（10連休）は、事前に保護者に保育園の利用についてのアンケートを行い、4月30

日・5月1日の2日間、開園しました。10月12日（土）は台風19号が上陸との情報から、事前に保護者に連絡を行い、当日の登園児がいなかったことから閉園しました。

10月より実施された幼児教育・保育の無償化に対し、事前に保護者に「幼児教育・保育無償化に伴う副食費徴収のお知らせ」と同意書を2部配布し1部を重要事項とともに保管していただくよう対応しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みとして、国や市の子ども青少年局からの通知を基に、子ども・保護者・職員の命を守ることを核として、法人・園としての対応を行いました。

2 利用者支援状況

全体の計画、年間計画等、各計画を踏まえたうえで、日々の保育の見直し、振り返りを行い、子どもたち一人一人が自分らしさを発揮できるよう、寄り添い・気持ちを受け止め、園内外においても、様々な人との関わりやふれあいを大切に、思いやりや優しい気持ちが伝わるよう保育を進めてきました。また、日々子どもたちの姿や菜園活動の様子等を伝えるために、園の入り口に写真で掲示するなど、「見える化」を行うことで、園全体の様子が伝わるよう努めてきました。年度後半には、各クラスの日誌を、ドキュメンテーション形式に変更し、日々のねらいや取り組みの様子を写真で保護者に伝えるなかで、コミュニケーションの輪を広げてきました。

園の立地条件を利用し、園外保育・菜園活動・園の回りの生き物の飼育を通して四季の移り変わりを全身で感じたり、日々の保育の中で体験・発見・感動したことを受け止め、共有し保育に繋げてきました。

生き物については、産卵を通して新しい命との出会いを期待しつつ、成長の様子を子どもたちと一緒に共有し保育につなげてきました。



（カイコと繭） （繭で作ったランプ）

配慮・援助を要する子どもへの対応については、専門機関との連携をとりながら成長を援助するとともに、該当クラスに加配の職員を配置するなど安心して生活できる環境の整備に努め、保護者との信頼関係を築きながら、子どもたちに対する共通理解を深められるよう取り組みました。具体的に加配の認定を受けている子どもはいませんでした。援助・配慮を必要とする子どもは年々増えており、北部療育センターとの連携とともに、関わり方、保育の進め方についての理解を深めてきました。情報は職員会議、記録書で共有し、全員が同じ対応をしてきました。

活動の内容や生活場面の移り変わりの際に、必要に応じて、職員を配置し、子どもたちが安心して生活できる環境を作るよう取り組みました。



（すくすく保育園クラスマスコット すくすくレンジャー）

3 職員の状況

職 名	平成31年4月1日 の職員数				年間退任・就任												令和2年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)						
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員		有期契約職員								正 規 職 員	有期契約職員				実 人 員 合 計	常 勤 換 算	
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B				契約職員		非常勤A		非常勤B		就 任 計	退 任 計		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B	常 勤 換 算			
						就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任										
園 長	1				1											1					1	1	
保育士	17			2	19		3								3	15			2	0.7	17	15.7	
看護師	1				1	1	1							1	1	1					1	1	
栄養士	2				2											2					2	2	
調理員	2			1	3											2			1	0.3	3	2.3	
事務員	1				1											1					1	1	
保育補助			1	1	2											1			2	1.6	3	3	
用 務																							
嘱託医				2	2														2		2	2	
計	24	0	1	6	31	1	4	0	0	0	0	0	0	1	4	23	0	0	7	2.6	28	26	

* 臨時職員の内、非常勤 A は正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤 B は正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

4 施設整備状況

園設立19年を経過し、園舎外壁工事に向けての建物診断の結果を受け、園舎外壁工事とそれに付随する屋上防水と園庭前ラバー工事を行いました。また、その他の箇所でも建物付属設備の経年劣化が進み破損が多くみられたことから修理・取り換えを行ってきました。

- ・エアコン室外機取り換え工事（令和元年8月14日）
- ・事務所横、網戸取り換え（令和元年9月10日）
- ・契約満了によりコピー機入れ替え（令和元年9月19日）
- ・2階保育室・給食室エアコン清掃（令和元年9月28日）
- ・園舎外壁工事（令和元年10月7日～令和元年11月30日）



（修繕後の園舎）

- ・防水・園庭前ラバー・園舎横舗装工事（令和2年1月14日～令和2年2月21日）
- ・セコムバッテリー交換（令和2年2月13日）
- ・2階保育室（3歳児クラス）パーテーション経年劣化により取り換え（令和2年2月17日）
- ・給食室給湯器経年劣化により入れ替え（平成30年10月27日）
- ・乳児外用靴箱経年劣化により購入（令和2年2月17日）
- ・砂場の砂購入（令和2年3月30日）

5 年間行事報告

月 日	行事名	月 日	行事名
4月1日	入園式	10月31日	なかよしパーティごっこ
4月26日	子どもの日を祝う会	11月5日	さつまいも掘り（澤さんの畑）
5月22日	内科健診	11月8日	焼き芋会
5月22日	尿検査	11月14日	歯科健診
5月30日	じゃがいも掘り（澤さんの畑）	12月7日	すくすく発表会
6月6日	歯科健診	12月18日	餅つき会
6月8日	ふれあい祭り	12月25日	お楽しみ会
6月17日	シャボン玉ショー	1月10日	だんご作り・どんど焼き
6月20日	プール開き	1月16日	影絵（かかし座）
7月4日	七夕会	1月24日	お店屋さんごっこ
7月6日	育児講座	2月3日	節分会
7月19日 ～20日	お泊り保育（年長児）	2月15日	アルバム制作会
		3月3日	ひな祭り会
8月29日	プール納め	3月6日	年長児親子ピクニック
9月2日	総合防災訓練	3月7日	新入園児説明会（個別）
10月5日	運動会	3月14日	卒園式
10月9日	内科健診	3月19日	幼児お別れ会
10月24日	幼児遠足（東方公園）	3月31日	進級式（各クラス）



（水・泥んこ遊び）



（なかよしパーティごっこ）



（足湯 冬至）



（すくすくキャンプ）

6 健康管理

常勤の看護師を配置し、必要に応じて医療機関や関係機関と連絡を取り、子ども一人一人の発育発達に合わせ、安全に過ごすことができる環境作りを行いました。

- ・保健の年間計画を基に、子どもたちが健康な生活習慣を身につけ、体力づくりや自らの健康に関心を持って、病気の予防や体力増進に取り組めるよう、絵本や模型を使い日々の保育の中でわかりやすく指導してきました。
- ・登園時の視診や看護師がクラスを回り、連絡帳の確認とともに健康観察・午睡明けの0, 1歳児の検温を行うとともに必要に応じて保護者への連絡を行い、病気の早期発見に努めました。
- ・予防接種のすすめや区からの感染症情報の掲示等、保護者に情報発信を行ってきました。
- ・全園児を対象に独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結び、園での病院受診の際に必要なに応じて手続きを行いました。
- ・事故対応マニュアル・感染症マニュアルを作成し、全職員が同じ対応をできるよう、職員会議・日々のミーティングで周知・演習を行いました。
- ・SIDS（乳幼児突然死症候群）の対策として、午睡時に0歳児は5分、1歳児は10分ごとにプレスチェックを行いチェック表に記入し予防に努めました。

保健行事	実施日	対象年齢
内科健診（年2回）	5月22日・10月9日	全園児
歯科健診（年1回）	6月6日・11月14日	全園児
視聴覚検査（年1回）	6月6日・11月（3歳児）	4歳児（今年度に限り3歳児11月実施）
尿検査（年1回）	5月22日	4・5歳児
身体測定（毎月1回）	毎月15日頃	全園児
爪検査（週1回）	毎週月曜日	全園児

<職員>

採用前健診	採用時	新採用職員
定期健康診断（年1回）	7月～8月	全職員
細菌検査（月1回）	毎月	全職員
ノロウイルス検査（月1回）	11月～3月	給食室
予防接種（年1回）	10月～	全職員
健康チェック（毎月）	出勤時（2月より検温実施）	全職員

7 食 事

月に1度、給食会議を開催し、喫食状況、献立内容、提供した食事の感想、反省、改善点等を栄養士・主任・クラス主任・園長が話し合い、よりおいしい給食の提供に取り組みました。

- ・栄養士・保育士が連携し、子どもたちに食品群や栄養バランスについてわかりやすく説明し、自分たちの体について関心を持てるよう取り組みを行いました。
- ・食事摂取基準を活用し、薄味・和食中心の献立を取り入れ安全でおいしい給食の提供を行いました。
- ・主治医の指示書に基づき、アレルギー児（卵）への除去食の対応を行いました。
- ・予定献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・おやつ・アレルギー児食・延長補食・夕食）の

配布。また、補食・夕食については、家庭的な雰囲気の中で、楽しく・美味しく食べることができるよう取り組みました。

- ・離乳食は、保護者と連携を取りながら、移行表を基に発達に合わせて進めていきました。
- ・日々の離乳食・給食・おやつ・補食・夕食を給食室前のサンプルケースに一人分の量を展示し、園での食事量をわかりやすく伝えていきました。また、給食試食会のを設け、子どもたちが食べている味や大きさを知ってもらい、人気メニューや簡単レシピのプリントの配布等とともに、家庭での子どもたちと保護者の食育につなげてきました。
- ・9月の総合防災訓練の際には、非常食を献立に組み込み、子どもたちに提供しました。



(お楽しみ会 バイキング・ケーキ)



(卒園式 茶話会ケーキ)

8 衛生管理

<保育室>

- ・クローラ水を使用し、掃除やおもちゃの消毒を行いました。
- ・各保育室に加湿器と空気清浄機を設置し、集団感染の予防に努めました。
- ・玄関・保育室・ホールにアルコール手指消毒液・消毒薬ミストを設置し、感染予防に努めました。
- ・各クラスに嘔吐処理セットを設置し、二次感染の防止に努めました。

<給食室>

- ・衛生チェック票を作成し、日々衛生項目に沿っての確認作業を行いました。
- ・調理室、ワゴン、冷蔵庫等の消毒を行い衛生管理に努めました。
- ・食器類は洗浄後、熱風庫にて保管し衛生管理に努めました。
- ・検品として、原材料・調理済み食品は、14日間保存（15日目に破棄）を行いました。

<施設>

- ・年に2回（春・秋）、害虫駆除を実施しました。

9 安全管理

- ・毎月1回（火災・地震・不審者・洪水等）色々な時間帯を想定し、抜き打ちで避難訓練を実施し、職員も交代で水消火器を使用しての消火訓練を行う中で、消火器の使い方を学びました。
- ・年1回（9月の総合防災訓練時）保護者に引き渡すことを想定し、職員同士で引き渡し訓練を行いました。

- ・遊具は、遊ぶ前に点検を行い、安全確認を行いました。
- ・月1回、保育室・園庭・園舎周りの安全点検を行い、危険箇所を確認し、不具合箇所については整備・修理を行いました。
- ・防災設備点検の実施(年2回)、4月の点検の際には点検結果報告書を都筑消防署に届出しました。特に問題はありませんでした。
- ・危機管理や災害時の連絡ツールとして、IP無線機を導入し、園だけでなく、法人内の各園とも連絡を取れるよう設定し、総合防災訓練時に活用しました。日々の保育では散歩や園外保育で活用しています。
- ・非常食糧の備蓄(全園児+職員)×3食×(1日～3日)分を分散備蓄で確保しています。
- ・110番通報システムを導入し、何かあった時(不審者の侵入等)には防犯ブザーを押すことで直接警察に通報が行き、迅速に対応してもらえるようになっています。

10 特別保育の実施

＜一時保育事業＞

- ・一時保育は、就労形態の異なる保護者からのニーズは高いものがあります。利用希望は乳児クラス(0歳～2歳児)が多くあり、施設面積から1日1人の受け入れに留まりましたが、緊急やリフレッシュ等、就労以外のニーズも可能な限りの受け入れを行いました。

＜延長保育事業＞

- ・支給・認定区分に応じた保育時間内に迎えに来られない場合に必要に応じて保育支援を行うとともに、夕方の延長に関しては補食・夕食の対応を行いました。

＜障害児保育事業＞

- ・障害児認定の子どもはいませんが支援が必要な子どもは多く、関係機関・保護者の方と連携を取りながら、他の子どもたちとの生活を通して共に成長できるよう、保育支援に心掛けました。

＜療育相談＞

- ・春と秋の2回、北部療育センターと連携を図り、来園していただき、気になる子どもへの対応について理解を深め、職員会議で報告し、共通理解を図りました。

＜体操指導・年20回＞ ＜太鼓指導・年12回＞…3歳児～5歳児

＜えいご・年24回＞…2歳児～5歳児

- ・体操指導は外部の講師をお願いし、年間プログラムにそって幼児クラスが行いました。運動会や発表会で、成長した姿を見せることができ、保護者からも継続の声をいただきました。
- ・和太鼓については、すすく保育園のオリジナル曲を作ってもらい、成果発表会への参加を最終目標に練習してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となり、園で行うバチ譲渡式の時に、全クラスの前で、年長児が発表しました。



(和太鼓演奏)

- ・えいごは外国人講師をお願いし、遊びながら英語に親しむことを考え、プログラムに沿って行いました。日程の変更などがありましたが、子どもたちは楽しく参加することができていました。

＜地域活動推進事業＞

- ＊世代間交流（都筑ハートフルステーション・横浜はつらつ・横浜ゆうゆう）

- ・ふれあい祭りの共同制作、敬老の日の集い、年長児交流、散歩等、各クラスの子どもたちが施設の利用者と年齢に合わせた形で世代間交流を行いました。



（敬老の日の集い）

- ＊地域育児支援

区の園長会として、近隣の保育園と協力し、地域の親子（乳児を対象）向けに、ふれあいの場を設け、育児相談、レシピ（食育）、パネルシアターの紹介等を行いました。

- ＊異年齢児交流

- ・行事の際の卒園児との交流や近隣小学校の１年生・２年生・５年生と学校探検や保育園交流を行いました。

- ＊実習生・中高生保育体験

養成校の学生をはじめ、夏休みに大学生・高校生のボランティア、中学生の職業体験などの受け入れを行いました。保育の仕事を経験し将来につなげてほしいと思います。

- ＊年間を通して園庭開放・育児講座・育児相談を行ってきました。

＜幼・保・小の連携＞

幼・保・小の連携では勝田小学校・中川小学校の１年・２年・５年生と年長児の交流・近隣保育園（やまた保育園・キッズフォレ）と年長児の交流をしてきました。

- ＊小学校との交流（中川小学校・勝田小学校）

- ・春に中川小学校の２年生が来園し、年長児と交流を行いました。秋には１年生、５年生と交流し、小学校探検や秋祭りなどに参加し、小学校就学への期待を膨らませることができました。

- ＊近隣の保育園との交流（やまた保育園・キッズフォレ・勝田保育園）

- ・近隣保育園との交流は年長児が中心に行いました。各園とも、ひとクラスの人数が少ない為、小学校に向けて大きな集団での経験をすることができました。また、同じ小学校へ通う子どももいるなかで、交流の場で仲良くなれたことは、小学校へ入ってからの安心感にも繋がったと考えています。

1 1 保護者に向けて

- ・重要事項説明書について、前年度からの変更点について、説明文とともに保護者に配布し、署名捺印をいただきました。また、新入園児は入園説明を個別に行う中で署名捺印をいただき、割り印押印の後、保護者と園で卒園まで保管します。
- ・緊急時防災メールや掲示板の利用登録を保護者、職員にお願いし、毎月の避難訓練後に訓練の様子をテストメールとして発信し、既読確認を行い伝達漏れがないよう努めました。

- ・保護者アンケートを実施し、保育の質の向上・行事の見直し等に向け、保護者の意見を反映させ、すぐにできるものは都度、見直しが必要なものについては次年度に取り入れられるよう対応してきました。
- ・各行事への参加の要請を行うとともに、日常の保育の様子もいつでも参観できるようよう声掛けしました。（年に2回、5月と1月に保育参観週間の機会を設けました）集団の中での活動の様子を見ることで、家庭との違いを理解する良い機会になっています。
- ・懇談会は、年度初めに年間の保育の見通しを伝えました。年度末については、クラスごとに「年度末懇談会号」という形で書面にて1年間の成長と振り返りを伝えました。
- ・年1回の個人面談では、園や家庭での様子を伝え、子どもたちに対して同じ視点で関わるができるよう共通理解を図りました。
- ・保護者へのお知らせについて、連絡ノート・連絡帳・連絡ボードを利用し、園での様子やご家庭での様子を共有しながら、保護者との信頼関係を築いていけるよう取り組みました。
- ・保護者の不安や、意見等についても職員間で共有し、内容によって担任・主任・園長が話をし、早めの対応に心がけました。
- ・保護者の表情や態度、声のトーンなど、出来るだけ早くキャッチして、職員から声をかけコミュニケーションを取る中で、日常の保護者に対する支援に努めてきました。

<毎月1日発行>

園だより ・ クラスだより ・ 保健だより ・ 給食だより

<月末に発行>

献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・アレルギー児食・おやつ・補食・夕食）

12 職員・園務

- ・交流のある小学校を中心に、卒園児がいる小学校の授業参観・運動会を参観に行き、連携を図るとともに、子どもたちの成長を見守ってきました。
- ・職員の処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ、職員処遇改善費の計画書の届け出を行い、職員に対して賃金の改善を図るとともに、キャリアアップ研修への参加の拡大に努めました。
- ・育児短時間勤務の職員がいること、また、外部への研修に参加してスキルアップができるよう、全職員で協力しながら参加機会の拡大を図りました。
- ・育休 1名（1名…5月より復帰） 育児短時間勤務 4名

* その他

- ・福祉団体総合保険・医療保障保険に引き続き加入し、職員の負担軽減に努めました。
- ・福祉医療機構退職金制度・横浜市勤労者福祉共済（はまフレンド）に加入し、福利厚生を強めてきました。

13 令和元年度研修内容

様々な条件の職員がいる中で、日々の保育を安全に行うことを優先しながらも、キャリアアップ研

修を初め、各自の希望研修に参加できる環境を作ってきました。参加した研修については、会議で報告し、日々の保育の中に取り入れ活かしてきました。また、研修に参加した職員を講師として、園内研修の機会を作り、情報の共有を行いました。

【令和元年度一般研修内容】

日 時	場 所	内 容	主 催	人 数
6月4日	横浜女子短期大学	保育士になった皆さんへ	横浜市	1名
6月12日	都筑区役所	絵本の読み聞かせ	横浜市立中川保育園	1名
6月19日	青海展示棟	教育ITソリューション	ソードエグビジョンジャパン(株)	1名
8月28日	都筑福祉健康センター	感染症研修	横浜市	1名
11月 9日	県民共済センター	絵本の読み聞かせ		1名
12月10日	都筑区役所	よく噛んで食べる	都筑区子ども家庭支援課	1名

【令和元年度キャリアアップ研修】

日 時	場 所	内 容	主 催	人 数
5月17日	職能開発総合センター	定例保育実践研修	横浜市	1名
6月 6日	横浜市技能文化会館	園内研修リーダー育成研修	横浜市	1名
6月11日	横浜女子短期大学	食育研修	横浜市	2名
6月17日	横浜女子短期大学	3歳児研修	白峰学園	1名
6月18日	横浜女子短期大学	2歳児研修	白峰学園	2名
6月26日	横浜女子短期大学	1歳児研修	白峰学園	2名
7月 5日	ミュージア川崎	発達特性の見立てと対話のコツ	ポピンズ	1名
7月 8日	横浜女子短期大学	2歳児研修	白峰学園	1名
7月11日	職能開発総合センター	定例保育実践研究	横浜市	1名
7月16日	横浜女子短期大学	3歳児研修	白峰学園	1名
7月23日	ミュージア川崎	障害児研修	ポピンズ	1名
7月25日	ミュージア川崎	障害児研修	ポピンズ	1名
7月26日	横浜女子短期大学	マネジメント研修	白峰学園	1名
7月30日	横浜技能会館	園内研修リーダー育成研修	横浜市	1名
8月 7日	横浜女子短期大学	1歳児研修	白峰学園	2名
8月 8日	ミュージア川崎	障害児環境	ポピンズ	1名
8月21.22日	関内文化会館	食育研修	横浜市	1名
8月22日	ミュージア川崎	障害児研修	ポピンズ	1名
8月29日	横浜女子短期大学	4.5歳児保育	白峰学園	1名
9月 2日	フォーラム南太田	定例実践研修	横浜市	1名
9月 6日	横浜女子短期大学	食育研修	横浜市	2名
9月 9日	横浜技能会館	園内研修リーダー育成研修	横浜市	1名
9月13日	横浜女子短期大学	マネジメント研修(主任者研修)	白峰学園	1名
9月20日	技能文化会館	幼児保育	横浜市	1名
10月17日	横浜女子短期大学	4.5歳児保育	白峰学園	1名
10月23日	横浜女子短期大学	主任者研修	白峰学園	1名



令和元年度 千丸台保育園 事業報告

定員100名 (在籍 97名)

1 施設運営状況

1年を通して安定した運営ができました。年度末には、個別支援児への加配が決まり、4月から遡っての収入となったことから、設備資金への積み立てに計上することとしました。

今年度は、収支資金残高が委託費の30パーセントを超えることも予想されたため、収支のバランスが取れるよう計画的に運営ができるように心がけました。また、子どもたちの保育を充実し、手厚く職員が付くことによるクラス運営を行うことから、対数を超える職員を採用したため、昨年度より人件費が増加する結果となりました。

年度末には、施設整備として老朽化していたジャングルジム・滑り台・たいこ橋を撤去し、園庭に総合遊具『グリーングリーンファーム』を設置し、乳児幼児共に遊びの幅が広がりました。

職員育成に向けては、園内研修を充実させ、職員会議での時間を使用して共通の意識を持ちながら学ぶ時間を作ることができました。保育中は声を掛け合い、担当のクラスだけではなく、他の学年との連携を心がけ、保育園の子どもたち全員を全職員で関われるようにしました。

2 利用者支援状況

入所状況は、4月、0歳児が6名でのスタートとなりましたが、9月までには定員外を含め11名の入所となりました。乳児クラスは空きのない状態でしたが、幼児クラスは各クラス3名ほどの募集を随時行いました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	56	54	54	54	54	55	55	55	55	55	55	55	657	54.8
女児	38	40	40	43	43	43	43	43	43	42	42	42	502	41.8
計	94	94	94	97	97	98	98	98	98	97	97	97	1,159	96.6

【利用者状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成24年度	10	13	17	17	19	21	97
平成25年度	11	13	17	17	18	19	95
平成26年度	11	13	17	17	19	17	94
平成27年度	10	13	17	16	20	19	95
平成28年度	11	14	18	20	21	21	105
平成29年度	11	15	17	19	18	20	100
平成30年度	10	16	18	17	20	20	101
令和元年度	11	15	18	18	17	18	97

また今年度は個別支援を要する児が多く、職員の加配をしながら落ち着いて過ごせるように保育を心がけました。また一時保育では非定型での利用もあり、年間を通して予約をされている家庭もあることから、安定した収入を得ることができました。利用希望が多い際には、プレイルームを準備していましたが、クラスでの枠で見ることができたために、別室での預かりはありませんでした。

3 職員の状況

職員の雇用は安定してでき、今年度は派遣会社に頼らず保育専門学校からの新卒者の採用が数年ぶりに実現できたことや若い世代の採用もできたことが大きな収穫でした。経験豊富な保育士から指導を受け、若い世代の保育士を大切に育てることを面談など取り入れながら丁寧におこなうことが出来ました。

職員配置はゆとりを持ち、子どもたちが安心して過ごせるように全職員が協力して支え合う努力をしました。

働きやすい職場を目指し、園長と職員の面談を行い、気持ちの理解を図ると共に会話を大切にしながら言葉での伝え方の工夫をしました。

【職員の状況】

職 名	平成31年4月1日 の職員数				年間退任・就任											令和2年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)						
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員	有期契約職員								正 規 職 員	有期契約職員				実 人 員 合 計	常 勤 換 算	
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			契約職員		非常勤A		非常勤B		就 任 計	退 任 計		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B	常 勤 換 算			
							就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任										
園 長	1				1										1					1	1	
保育士	20			14	34	4	1						2	4	3	22			14	6.4	36	28.4
看護師	1				1										1					1	1	
栄養士	2				2										2					2	2	
調理員	2			3	5	1	1							1	1	1			3	1.6	4	2.6
事務員	1				1										1					1	1	
保育補助				5														4				
用 務																						
嘱託医				2	2													2		2	0	
計	27	0	0	24	46	5	2	0	0	0	0	0	2	5	4	28	0	0	23	8	47	36

* 臨時職員の内、非常勤 A は正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤 B は正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

4 施設整備状況

施設整備については、いつも清潔で安全な保育室・園庭を心掛け、掃除や点検をこまめに行いました。特に衛生面には職員の意識が高く、おもちゃの消毒や清掃には気を付け感染症を予防していくように努めました。また自然がたくさんある中で、落ち葉などの掃き掃除や安全に遊べるように点検を欠かさずに行い怪我に繋がらないよう環境を整えました。

年度の終わりには創立15年を迎え、総合遊具『グリーン
グリーンファーム』の設置をする事ができました。滑る・
登る・渡るなどの運動機能の成長発達を促すことができ、
乳児から幼児まで子どもたちが楽しく体を動かせる環境
を作ることができました。



(新たに設置した園庭遊具 グリーングリーン・ファーム)

修繕工事は、幼児トイレの配管交換工事を行いました。以前から排水が詰まる事が何度かあり、高圧
洗浄をかけていましたが配管が老朽し、管の中央部分が陥没しており、うまく水が流れず管の中も老廃
物が詰まっており、交換することとしました。

5 年間行事報告

月 日	行事名	月 日	行事名
4月1日	入園式・進級式	10月18日	園外保育
4月23日	茶摘み	10月24日	さつまい堀り
4月25日	子どもの日の会	10月31日	ハロウィン
5月16日	内科健診	10月31日	歯科健診
5月22日	がやっこスポーツフェスタ	11月1日	がやっこドッジボール
5月23日	歯科健診	11月7日	人形劇
5月29日	さつまいも苗植え	11月19日	おたのしみ会
6月26日	じゃがいも堀り	12月25日	クリスマス会
7月5日	七夕の会	12月26日	おもちつき
7月26日 ～27日	お泊り保育	1月8日	がやっこお正月遊び
		2月3日	節分の会
8月13日 ～16日	夏期合同保育	2月4日 ～5日	お店屋さんごっこ
		3月2日	じゃがいも種芋植え
8月22日	夏祭り	3月3日	ひなまつりの会
9月4日	大根種まき	3月6日	お別れ遠足（幼児）
9月5日	プール納め	3月10日	お別れ散歩（乳児）
9月12日	敬老の日の会	3月18日	第15回卒園式
10月12日	運動会	3月27日	おたのしみ遠足（5歳児）
10月17日	内科健診	3月31日	年度進級式

* 誕生会(毎月)

* 体操教室(幼児)月 2 回金曜日

* おはなし会(幼児)月 1 回… 3 歳児は9月より参加

* リズム遊び(幼児)週 1 回(基本水曜日)

- * 新井小学校交流(1・5年生)・白根保育園交流・がやっこ交流(保土ヶ谷区公私保育園)
- * 世代間交流(ケアプラザ)
- * 地域交流…園行事へのお誘い
- * 布団乾燥(2ヶ月に1回)
- * 害虫駆除(年2回)
- * 個人面談
- * 懇談会・保育参加(年2回)
- * 試食会(給食・おやつ)

6 健康管理

園児は内科健診(年2回…5月・10月)・歯科健診(年2回…5月・10月)・視聴覚検査(3・4歳児・年1回)・尿検査(4・5歳児・年1回)を実施し、また全園児対象に身体測定(月1回)、爪検査・頭髪検査を(毎週1回月曜日・頭じらみの予防)行いました。

職員は定期診断(年1回)及び全職員の細菌検査(毎月)・給食室職員は2回を実施し、また毎日『健康チェック表』に記入し、職員の体調を把握し健康管理に努めました。

感染症発生時は、早めに保護者へ周知し感染が拡大しないように注意喚起の張り紙や流行状況の把握をし、手洗いの励行やマスクの着用。全職員インフルエンザの予防接種を受け、健康管理に努めました。

特に今年度後半(年明け)からは新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、3密(密閉・密集・密接)を避けて保育に臨みました。『緊急事態宣言』が発令されてからは特に園舎内の清掃・おもちゃの消毒を念入りに行い、清潔に保つように心がけました。

日常の保健内容については、看護師と相談をしたり話し合いをしたり情報を共有しながらすすめる事ができました。

7 食 事

すべての活動の源となる大切なものと認識し、安全でおいしい給食を提供することから和食を中心とした献立を取り入れています。栄養士が献立(1か月2サイクル)を作成し、完全給食を実施しました。

保護者へは、毎月末に翌月の献立表を配布し、アレルギー児の家庭には、毎月、面談し内容について栄養士から説明をしました。食事形態については、咀嚼状況や保護者の意向などを伺い決めています。

食事形態は離乳食(5～6か月食・7～8か月・9～11ヶ月食)・12～18か月食・未満児食・幼児食に分かれており、成長に合わせてすすめています。

- * 暦に合わせて、行事食を取り入れ食事の楽しさを伝えてきました。
- * 「アレルギー疾患生活管理指導表」の提出に基づき、アレルギー食の対応をしてきました。
- * 保育時間に応じて補食(18:30以降の迎え)・夕食(19:00以降の迎え)の対応をしています。
- * 当日の給食(離乳食・昼食・おやつ・補食)をサンプルケースに掲示しています。
- * 子どもたちには栄養士による食育指導を定期的におこなっており衛生面の大切さや噛む事の大切さなどわかりやすく伝えられるよう努めてきました。

8 衛生管理

衛生面では、玩具の消毒・掃除はクロール水(次亜塩素酸)を使用し、安全・清潔に保てるようにしました。また園舎内を常に清潔に保つために清掃はこまめに行い、気持ちよく子どもたちが過ごせるように努めました。

* 保護者へは保育室入室の際、手洗い・うがいをしていただき感染症予防に努め、職員も十分に気を付け、マスクの着用や検温をして『健康チェックカード』の記入をして各自、体調管理をしました。

* 各保育室には空気清浄器を設置し、冬は湿度を保つために加湿器を設置しました。冬の感染症が流行る時期には、クレベリンを各クラスに設置して空間除菌をしています。

* 夏は蚊の発生が多く、虫除けシートをしたり各保育室には、虫コナーズを設置したり工夫をしました。

また年度末には来年に向けて『モスキートマグネット』という機械を購入し、蚊のメスを捕獲し発生率を抑えることができるものです。4000 m²の広さまで効果があり、園舎裏から園庭まで捕獲区域になります。



(モスキートマグネット)

9 安全管理

* 防災訓練 : 毎月1回避難訓練(地震・火災・防犯・水害・停電)、消火訓練、スミスライト訓練、通報訓練を実施しました。抜き打ち訓練も実施し、災害時に戸惑わないように子どもたちの安心・安全のため適切な準備をしてきました。子どもたちには訓練時に約束事を繰り返し伝え、いざ急な災害に慌てずに避難ができるようにしました。

* 毎月『安全点検表』で保育室・園庭の危険箇所を点検(目視・打音・振動・負荷)し、危険個所について早急に改善して安全に遊べるように対応してきました。

* 毎月『事故チェックリスト』の安全項目を担任同士で確認、話し合い危機管理意識を持つように心がけてきました。

* 交通ルールの約束事など保育の中で教材(紙芝居や絵本)を使用し、分かり易く子どもたちに伝える事が出来、また散歩時に指導したり実践してみたりしてわかりやすく伝えました。

* 防犯カメラ3台(園庭・裏門・正門)による安全対策をおこないました。

* IP無線機を活用し、災害時の連絡ツールとして連絡手段や散歩など園外に出かける際に持って出かけるよう職員に周知しています。千丸台保育園だけではなく、本部・3園との連絡も可能になっています。

10 特別保育の実施

〈地域交流〉

地域に根差した保育園を目指し、園庭開放(夏はプールあり)や育児相談をおこないました。

保育園での行事(七夕の会・人形劇・ししまい)にお誘いをし、園児と一緒に由来を知ったり制作を楽

しんだりしました。また育児講座では、毎年好評の『ベビーマッサージ』をおこない、外部講師に依頼し、愛着(アタッチメント)の大切を伝えながら育児相談をしながら行うことができました。しかし今年度末は新型コロナウイルス感染症予防から園庭開放を休まざるをえませんでした。

1 1 保護者に向けて

年2回クラス懇談会を実施しています。5月の年度はじめには保育目標を踏まえ1年間の保育のねらいや内容について説明をし、その後はおやつを試食会を行い、子どもたちと楽しく召し上がっていただきました。また年度終わりの2月には、1年の振り返りをし、成長を共有し、進級・就学に向けての具体的な目標や次年度に向けての話をしました。

保護者には、各行事に参加していただき、その都度子どもの成長を共に分かち合う事が出来ました。『運動会』では台風の影響から開催が危ぶまれましたが、谷間の晴れの日は無事行う事ができ、子どもたちの成長や練習での成果を見ていただきました。

食育では、11月に『ランチバイキング』を開催し、希望の方に保育園の給食を家族で食べていただき、味付けや食材の切り方など紹介しながら召し上がっていただきました。栄養士からメニューの紹介や調理方法など説明をしてレシピ集をお渡しし、家庭で作っていただけるように工夫しました。また、2月には、『親子でおやつクッキング』を行い、保育園でのおやつを実際に親子で作って食べる体験をしました。

今年度は特に保護者の方との“会話”を大切にし、送迎時ではお伝えしきれない事や保護者からの相談など、時間を作り面談の時間を設けました。直接お会いして話す事でお互い気持ちの理解ができ、良好な関係を築くことが出来ました。

年度末には、『保育(園)に関するアンケート』を実施し、保育の見直しを行いました。保護者のニーズに応えられるように職員会議の園内研修で課題について話し合い、来年度の保育につなげていけるようにしました。

1 2 職員・園務

年2回(6月16日・1月19日)地域指導者交流会に参加し、地域の関係機関との顔の見える関係づくりと情報交換を行い地域に根差した園経営の充実を図りました。

1年を振り返って園の自己評価を正規職員でおこないました。A～Dの評価で引き続き努力していく点と改善していく点とを明確化しました。職員一人ひとりがより良い園作りを意識し、来年度へ向けてさらに課題解決に努め、保育内容の充実を図りました。

*3月30日付、千丸台保育園のホームページに公表

職員は保育の質の向上の為、主に横浜市や保土ヶ谷区主催の研修を受講しました。また、今年度は専門リーダー・職務別リーダーの人材育成を図り、昨年度よりも充実した内容で外部の研修を受講することが出来ました。また研修報告をおこなう事で知識の共有を図り、日々の保育に活かしながら取り組みました。

13 令和元年度研修内容

日 時	内 容	主 催	人 数
4月10日 4月23日 6月13日	保育士等キャリアアップ研修 『保健衛生・安全対策分野』	横浜市こども青少年局	1名
4月28日	法人4園合同研修	長幼会	全職員
5月27日	救急法（普通救命救急）	保土ヶ谷区	3名
6月6日	救急法（普通救命救急）	保土ヶ谷区	3名
6月21日	保育士等キャリアアップ研修 『マネジメント分野』 保育の安全対策		1名
7月8日	保土ヶ谷区保育所看護師連絡会	保土ヶ谷区	1名
6月26日 7月1日 7月8日	保育士等キャリアアップ研修 『幼児保育分野』	横浜市こども青少年局	1名
7月1日 7月3日 7月17日	保育士等キャリアアップ研修 『幼児保育分野』	横浜市こども青少年局	1名
7月5日 7月19日 7月20日	保育士等キャリアアップ研修 『乳児保育分野』	横浜市こども青少年局	1名
7月24日 8月2日 8月7日	保育士等キャリアアップ研修 『保護者・子育て支援分野』	横浜市こども青少年局	1名
7月29日	ひらがな指導	チャイルド・トゥデイ	1名
8月7日 8月27日 8月28日	保育士等キャリアアップ研修 『保健衛生・安全対策分野』	横浜市こども青少年局	1名 1名 1名
8月18日 8月21日 9月3日	保育士等キャリアアップ研修 『食育・アレルギー分野』	横浜市こども青少年局	1名 1名 2名
9月25日	保育園の会計と実務	(株)サーヴ	1名
9月30日 10月22日 10月23日	保育士等キャリアアップ研修 『障がい児保育分野』	横浜市こども青少年局	1名
10月29日	子どもの感染症について	保土ヶ谷区	1名
11月1日	保育実技研修「伝わる文章の書き方」	保土ヶ谷区	1名

11月8日	5区合同研修	西区・瀬谷区・保土ヶ谷区・旭区・南区	4名
11月11日	障がい児保育 基礎	西部療育センター	1名
11月28日 11月29日	社会福祉法人会計基準対応研修	ウイリング	1名
1月7日 1月14日 1月21日	保育士等キャリアアップ研修 『マネジメント分野』	横浜市こども青少年局	1名
1月7日 1月19日 1月24日	保育士等キャリアアップ研修 『保護者・子育て支援分野』	横浜市こども青少年局	1名
1月21日	救急法 『普通救命救急講習』	西谷消防署	全職員
1月29日 2月3日 2月12日	保育士等キャリアアップ研修 『保健衛生・安全対策分野』	横浜市こども青少年局	1名
2月4日 2月5日 2月7日 2月11日 2月12日	子育て支援員研修	横浜市こども青少年局	1名
2月17日 2月18日 2月27日	保育士等キャリアアップ研修 『障がい児保育分野』	横浜市こども青少年局	1名

副主任・専門リーダー・職務別分野リーダーは、自身の保育資質向上や指導者として人材育成をしていく立場からキャリアアップ研修を受講しています。

多方面の内容に渡り知識を深め、保育の幅を広げると共に学んだ知識を職員に伝え、職員全体の育成として園の活性化のため活用していきます。

救急法研修は毎年、西谷消防所へ講師の派遣を依頼しています。全職員が『普通救命講習』の修了証を持っており3年に1度、更新講習を受講しており、今年度は3時間の再講習となり修了証の更新をしました。

【園内研修】

保育の質の向上と職員の意識統一のため職員会議の時間などを使い行いました。正規職員が参加し、園長・看護師・専門リーダーが外部研修で学んだ事を研修できるよう工夫しています。また非常勤職員も個別に『嘔吐処理研修』を行い職員全員が同じ対応が出来るようにしました。

日 付	内 容	担 当
4月25日(木)	保護者アンケートより保育について考える	園長
5月29日(水)	人権について	園長
6月27日(木)	保健について	看護師
9月22日(木)	障がい児保育について	幼児主任
10月24日(木)	感染症・手洗い研修	(株) サラヤ
1月28日(火)	ダイアップの使い方について	看護師

社会福祉法人長幼会 千丸台保育園

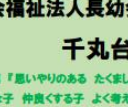
保育目標『思いやりのある たくまいる子の育成』
丈夫な子 仲良くする子 よく考えて行動する子

交流保育 ～ 人とのふれあいを大切にして、たくまいる子と交流しています ～



がやっこ交流

保土ヶ谷区の公私立保育園交流です。川島町のグラウンドで体操をしたりゲームをしたり、交流先の保育園でお正月遊びを楽しみます。



敬老の日の会

園児の祖父母の方や地域の高齢者の方を保育園にご招待。昔ながらの遊び(お手玉・コマ回し・折り紙など)を覚えてもらい、お礼に買ったたきものプレゼント … ♡



小学校交流

新井小学校と幼稚園連携で、就学に向けて年長児と1年生・5年生と年3～4歳ずつ交流を楽しんでいます。



ケアプラザ交流

上野田ケアプラザのデイケア利用の方とふれあい遊びやゲームで交流をします。毎週、利用者の方にとっても喜ばれています。

食 育

『～ 豚汁やふりかけ作りを楽しんでいます～』



子育て支援

園庭開放・一時保育・育児相談・育児講座・交流保育

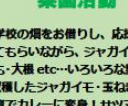


菜園活動

新井小学校の畑をお借りし、応援の徳山さんに教えてもらいながら、ジャガイモ・玉ねぎ・さつまいも・大根 etc…いろいろな野菜を育てています。収穫したジャガイモ・玉ねぎは年長児のお泊り保育でカレーに登場！さつまいもは焼いもに大根は豚汁を作って頂いています。いつも収穫が楽しみです。





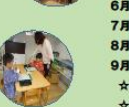
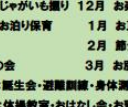



年間行事

4月 入園式・お花見会食	10月 運動会・さつまいも祭り
5月 茶会	11月 人形劇・焼きいも会
6月 親子遠足・じゃがいも祭り	12月 お楽しみ会・お餅つき
7月 七夕の会・お泊り保育	1月 お正月遊びの会・獅子舞
8月 夏祭り	2月 節分の会・保育参観
9月 敬老の日の会	3月 お別れ遠足・卒園式

☆毎月の行事：誕生会・避難訓練・身体測定
☆幼児クラス：体操教室・おはなし会・お習字(5歳児のみ)









令和元年度 横浜みなとみらい保育園 事業報告

定員 120名 (在籍130名)

1 施設運営状況

最大受け入れ人数135名である定員の12%増の弾力化を目指し、待機児解消に努めましたが、3歳児クラスで入退園者が重なり8%増の130名という近年では一番在園児数が少ない状況となりました。

また、保護者のニーズを受け延長保育（朝30分、夕方2時間半）を実施し、保護者の就労支援に努めるとともに、延長保育の中で安心して子どもたちが過ごすことができるよう環境整備等配慮しました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	59	59	59	59	59	60	60	61	60	60	60	60	716	59.7
女児	71	71	71	72	71	71	71	70	70	70	70	70	848	70.7
計	130	130	130	131	130	131	131	131	130	130	130	130	1,564	130.3

【利用者状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成24年度	20	22	23	23	23	23	134
平成25年度	20	22	23	23	23	23	134
平成26年度	20	22	23	23	23	22	133
平成27年度	20	22	23	23	22	23	133
平成28年度	20	22	23	23	20	22	130
平成29年度	20	22	23	22	23	24	134
平成30年度	20	22	23	23	22	24	134
令和元年度	20	22	23	19	23	23	130



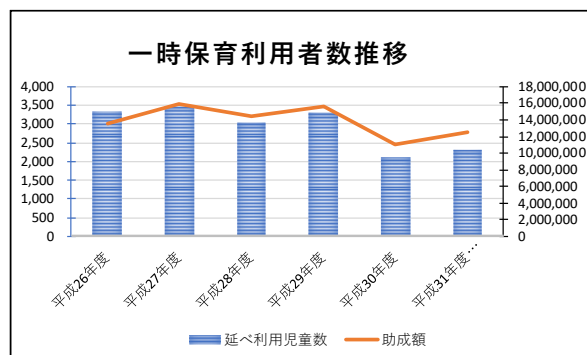
保育園が入居している
横浜ファーストプレイス外観

一時保育は保護者のパート就労やリフレッシュ等様々なニーズに対応し、生後六か月から就学時までの子どもを最大11時間受け入れる体制を整えています。

一時保育専用の保育室で最大19名の乳幼児を預かり、0歳児（生後6か月から）は保護者の方にも安心して預けていただけるように、0歳児クラスでの受け入れし、在園児同様離乳食にも対応しています。

4・5歳児に関しては、幼稚園の春休み・夏休み等の

利用が多く、在園児の部屋で3名ずつ受け入れをできるようにしています。しかしながら、西区内にも0



歳児から2歳児を受け入れる保育施設も増えたことで、利用者数が伸び悩み、利用希望の多い0歳児の子どもを一時保育室でも預かれるよう一時保育室の環境整備も見直し、低年齢の子どもを受け入れ、当日預かり等も受け入れるようにしてきましたが、3月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い利用自粛を要請したことから、年間延べ人数 2,309名、月平均 192名と一番最盛期の頃より約1,000名減少する状況となり、ここ数年、漸減傾向が続いています。

また昨年度は大型台風の影響での閉園や運動会の中止により、初めて園庭で「ミニ運動会」という形での開催や、後半は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、お別れ遠足の中止や卒園式の縮小など今まで当たり前になっていたことができない状況となり、制限のかかる中、子どもたちが楽しみにしている行事をできるだけ今までに近い状況にもっていけるかなど行事の在り方や開催の仕方について職員と考え工夫しながらの運営をしてきました。

地域との交流では、園庭開放や夏場の水遊び、育児相談、貸出図書、交流保育等で子育て支援を行うとともに、近隣の中学生、高校生の保育体験受け入れなど世代間、異年齢児交流に努めました。なお、地域との関わりにおいては、行事やイベントを通しての地域公私立保育園交流、平沼小学校を中心とした幼保小交流、町内会行事への参加、出前保育、体験保育、育児講座に積極的に努め、保育所の役割発揮に努めました。

職員育成では、職位階層（キャリア）別に求められる資質確認書に基づき職員一人一人が目標を設定し、その目標に対し自己評価をし、達成度や反省をすることで、職員一人ひとりが求められている事、できていなければならないことが確認できるようにしました。また、昨年度同様、対象職員はキャリアアップ研修に積極的に参加し、それを園内で伝え合うことで、園全体の資質の向上に努めました。

保育園の自己評価を行うことにより、職員がどの程度、園の運営内容や職員として求められていることについて理解をしているか等について、再確認していくことにより施設長としての課題を見つけることができました。

職員の安定した採用に結びつけるために、採用時のトライアル制度を取り入れることで、お互い安心した雇用に結びつけることができました。

保護者には、保護者アンケートの結果から課題を見つけ保育の質の改善につなげるように努めました。なお、制度として大きく変わった点として令和元年10月1日より3歳児から5歳児クラス（2号認定）のすべての子どもの利用料が無償化されました。無償化に伴い3歳児から5歳児クラスの副食費（おかず・おやつ代）を園が直接徴収することになり、3歳児から5歳児クラスの方は主食代2,000円、副食費として4,500円徴収しています。（0歳児から2歳児クラスは今まで通り利用料に主食・副食費が含まれています。）

2 利用者支援状況

「思いやりのあるたくましい子の育成」を保育目標に、身体を使った遊びを通しての体力作り体育指導、クッキング保育、2歳児から年長児の英語指導など様々な活動を取り入れる中で、一人ひとりが自分の力を十分に発揮し、仲間と育ち合えるよう努めました。

また、「自発性・知的好奇心」「優しさ」を育てるために、大人が先回りしすぎず、見守ることを職員間で意識統一していくと共に懇談会等の機会を通して保護者にも伝えていきました。

グループでの話し合いを通して自分たちで作り上げる経験を意識して取り入れていく中で、子どもたちの達成感や自信につなげていきました。

また、配慮・援助を要する子どもたちに関しては中部・東部療育センターと民間の支援施設を併用する家庭も増え園での様子を第三者の目で見えていただき家庭・保育園・支援施設で情報共有しながら、子どもたちの支援に努めてきました。

3時間延長保育の実施に伴い補食・夕食提供、また、延長保育の子がゆったりと過ごせる環境作りや保護者との連携に配慮しました。職員間では、マニュアルの見直しや連絡事項の徹底を行い、保育の質の向上に努めました。また、保育参観・参観週間においては外部の指導者の様子を見ていただけるようにし、保育参加を積極的に取り入れ、子どもたちの様子・表情を見ていただくことで、保護者との共通理解につなげていきました。

また、5月の即位の礼に伴う大型連休については保育希望を取り、二日間ではありますが休日保育を実施し保護者支援に努めました。



(夏場には園庭でプールや水遊びも楽しめます)

(積極的に近隣の公園にも遊びにいきます)



(園庭の砂場で砂遊びを楽しむ子どもたち)

3 職員の状況

職 名	平成31年4月1日 の職員数				年間退任・就任												令和2年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)						
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員	有期契約職員								正 規 職 員	有期契約職員				実 人 員 合 計	常 勤 換 算		
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			契約職員		非常勤A		非常勤B		就 任 計	退 任 計		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B	常 勤 換 算				
							就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任											
園 長	1				1										1						1	1	
保育士	32		2	11	45	4	5					1	1	5	6	30		3	7	6.6	40	39.6	
看護師	2				2		1								1	1					1	1	
栄養士	2				2										2						2	2	
調理員	3			2	5	2	1							2	1	4			1	0.4	5	4.4	
事務員	1				1										1						1	1	
保育補助				1	1								1										
用 務																							
嘱託医				2	2														2		2	2	
計	41	0	2	16	59	6	7	0	0	0	0	1	2	7	8	39	0	3	10	7	50	49	

* 非常勤職員の内非常勤 Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇入れられた時間給職員、非常勤 B は正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇入れらえた時間給職員です。

4 施設整備状況

今年度は大きな修繕はおこなっていませんが、開園し12年が経ったところで、経年劣化による設備・備品の修繕が多かったことから、改めて園舎内の点検を含め子どもたちにとって居心地の良い環境整備に努めていきます。

- ・エアコンの制御盤不良にて制御盤交換工事を行いました。（女子更衣室・1歳児・4歳児保育室）
- ・給食室グリストラップの仕切り版の溶接、水道蛇口の交換工事を行いました。

5 年間行事報告

月 日	行事名	月 日	行事名
4月1日	入園式	10月25日	秋の園外保育
4月26日	子どもの日を祝う会	10月31日	わいわい仮装パーティー
	誕生会（毎月）		保育参観週間（全クラス）
	避難訓練（毎月）	11月1日	ミニ運動会（幼児クラスのみ園庭にて開催）
	懇談会（各クラス）	11月3日	西区民祭り参加（5歳児）
	おはなし会（2歳児～5歳児（毎月）	11月11日	2歳児と遊ぶ会（地域交流保育）
※	体育指導（幼児 月2回）	11月5日	
※	英語指導（2～5歳児 月1回）	12月14日	生活発表会

※	習字指導（５歳児 月１回）	12月17日	お楽しみ会
5月17日	春の園外保育（幼児）	11月20日	もちつき会
5月18日	開園記念日（12周年）		歯磨き指導（３～５歳児）
5月31日	MM祭り	1月9日	繭玉団子作り（２～５歳児）
※	園児内科健診（年２回）	1月14日	お正月遊びの会
※	尿検査（４・５歳児）	1月17日	ジャパンフィッシングショー（５歳児）
6月7日	プール開き	1月22日	横浜消防音楽隊の音楽鑑賞
6月11日	歯科健診（全園児 年2回）	1月24日	懇談会・おやつ試食会（５歳児）
	保育参観・試食会（各クラス）	2月3日	節分会
10月24日	歯磨き指導（３～５歳児）	2月12日	製作遊びの会
	赤染体験（３～５歳児）		懇談会・おやつ試食会（０、２～４歳児）
6月28日 ～29日	お泊り保育（５歳児）	2月18日	幼児交通安全教室
		2月22日	入園説明会（新入園児）
7月5日	七夕会	3月3日	ひなまつり会（クラスごと）
7月10日	子どものアトリエ	3月6日	お別れ会
7月16日	古賀さんお話会	3月14日	卒園式（式典は縮小し、茶話会中止）
8月30日	プール納め	3月26日	おじさんおはなし会
9月2日	総合防災訓練	3月31日	進級式
9月4日	平沼水天宮例大祭子ども神輿		
9月13日	敬老の日を祝う会		
9月25日	人形劇観劇		

6 健康管理

入園する際、看護師が作成した「健康と安全のためのお知らせ」と「子どもの睡眠が成長に与える影響」の冊子を配布し、保護者とともに健康管理ができるように努めました。

また、普段から登園時には手洗いの曲をホールに流して親子で手洗いをしてから保育室に入るなど感染症対策の意識づけは行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を受け看護師による「咳エチケット」や「手洗い指導」を行い更なる意識づけを行ったこともあり、インフルエンザ発症児は最小の３名に留まりました。

また、毎年１歳児クラスから５歳児クラスまで梅ジュース作りを行い、出来上がったジュースは夏に夏バテ防止として希釈し飲み、水分補給も麦茶だけでなく経口補水液を給食室で作ってもらい意図的に摂取させることで、熱中症予防にも努めました。また、全体職員数が５０名を超えている対象施設という事でストレスチェックを導入しました。



青梅に爪楊枝で穴をあけたら

氷砂糖と一緒に瓶に入れていきます

- ・園児（年２回）・職員（年１回）の定期診断及び全職員の細菌検査を毎月実施しました。
- ・給食職員にはノロウイルスの細菌検査を別途実施しました。（11月～3月）
- ・職員のインフルエンザ予防接種の実施
- ・看護師からのお知らせボードに感染症の状況等を掲示し、保護者への情報発信を行いました。
- ・健康管理には最善の注意を払い、感染症については保護者にも周知することで、拡散は防げた。

7 食 事

〈おいしく たのしく げんきになろう〉を給食目標に掲げ、子どもたちが健やかに育つために年齢（月齢）や成長に応じて、栄養士がたてた献立による完全給食の実施をしています。

アレルギー児へは生活管理指導票に基づき除去食の提供、3歳児以上の子どもたちへの主食の提供や、延長保育を利用する児には補食や夕食の提供も行ないました。また、アレルギー児を持つ保護者には誤食を防ぐためにダブルチェックとし、次月の献立会議後、献立表の確認をしていただくようにしました。

日々の離乳食、給食、おやつ、補食、夕食は事務所前のサンプルケースに基準量で展示し、保護者にも伝わりやすいようにしました。また、毎月の給食だよりには人気給食のレシピ掲載や、試食会の際にもレシピの配布を行いました。また、補食・夕食に関しては除去食で献立を作成することで、アレルギー児の補食・夕食の希望が出ても対応できるようにしました。

離乳食に関しては園で使用する食材表を保護者と確認しながら個々の成長に合わせて進めていくようにしました。また、給食の試食会は開園当初から行っていますが、おやつを試食もしてみたいという保護者の希望に応え、年度末の懇談会後におやつ試食会を設けるようにしました。

そして、子どもたちがより食に興味を持てるようにクッキング保育やプランター栽培等を通して食育活動を行いました。



（5歳児が園庭で毎年田植えにもチャレンジします）



（食育活動の一例 おやつの特産品トウモロコシの皮むき）

8 衛生管理

* 保育室

- ・クロール水を使用し掃除や消毒に努めました。
- ・各クラスに嘔吐処理セットを設置し二次感染の防止に努めました。

* 給食室

- ・衛生チェック表に基づき日々衛生・確認に努めました。

- ・食器洗浄後、熱風庫にて保管
- ・食材の原材料・調理済み食品の保管（2 週間）

＊施設

- ・年間 2 回の害虫駆除（6 月・12 月）を行いました。

9 安全管理

- ・交通安全教室を行ない関係機関と連携を取ることができました。また、普段のお散歩（園外保育）の際にも交通ルールの確認を行うことで子どもたちにも意識できるようにしました。
- ・防犯訓練、毎月 1 回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施し、西消防署の方に実際の訓練を見ていただき改善点やアドバイスをいただくことで職員も訓練の内容等を確認することができた。
- ・消防計画や避難確保計画（洪水）の作成及び備蓄品の確保をしています。
- ・安全チェックシートに基づき、各保育室・園庭・ホール・等の安全確認を月に 1 度確認を行いました。
- ・自主点検表に基づき日々安全確認を行いました。
- ・災害時、より確実に連絡体制が取れるよう IP 無線を普段の園外保育の際にも携帯し、各職員が使用できるように努めました。
- ・災害時に通常のミルクを提供できないことを想定し液体ミルクを常備し、0 歳児クラスで入園される家庭には入園前の説明会に試食品を各家庭に配布し入園前に試していただくようお願いしています。



実際の散歩で交通ルールを再確認

みんなで左右を確認し、手を挙げて渡ります

10 特別保育の実施

- ＊ 一時保育事業
- ＊ 産休明け保育
- ＊ 延長保育
- ＊ 障がい児保育
- ＊ 地域子育て支援
- ＊ MM 祭りには地域の親子も招待し一緒にお祭りを楽しんでいただきました。
- ＊ 敬老の日を祝う会では、祖父母を招待し、ふれあい遊び等の交流会を今年も実施しました。

- * 育児講座や保育園の行事に積極的に参加を呼び掛けて、地域交流を行ないました。
- * 月に一度、意図的に異年齢児との交流を行い、いたわる気持ちや敬う気持ちを育てています。
- * 体育指導（3～5 歳児）
- * 英語指導（2～5 歳児）
- * 習字指導（5 歳児）
- * 読み聞かせ（2～5 歳児）
- * 実習生・ボランティア保育体験

保育士養成校の実習生・近隣中学・高校の保育所体験を積極的に受け入れました。また、中学生の保育体験では昨年に引き続き卒園児が体験に来るなど、保育園の歴史が積み重なれている事と卒園児の成長が実際に見られ嬉しく感じられました。

- ・専門校受け入れ（1 校）実習実日数（10 日）実人員 2 名
- ・専門校受け入れ（1 校）見学実習（3 日）実人数 9 名
- ・高校性受け入れ（1 校）保育体験（3 日）実人数 3 名
- ・中学生保育体験（2 校）保育体験（3 日）実人数 4 名

1 1 保護者に向けて

- ・園だよりや保健だより、給食だより、クラスだより、献立表等各種おたよりの配布。
- ・育児講座の開催
- ・各種行事へのお誘い
- ・ホームページや掲示板の開設
- ・第三者委員の設置
- ・保護者アンケートを実施し、利用者の要望を把握
- ・中央図書館のご協力のもと貸出図書の実施
- ・新入園児に向けての入園説明会の実施
- ・懇談会の開催や保育参観、保育参観週間を設け、保育を観ていただく機会を多く設けた。

1 2 職員・園務

有志職員が地域消防団に加入し、自園の防災力を高めることはもちろん、地域の防災力を高めること、地域の方との結びつきに努めています。

- ・地域出前講座への参加
- ・幼保小交流を通して、子どもの育ちの連続性のために、大人の顔が見える関係作りにも努め、平沼小学校の教員（7 名）が夏休み期間に順次保育体験に来ていただき子どもたちの育ちを見ていただくだけでなく、入学した際に知っている先生がいるという安心感にもつながりました。
- ・自治会への参加
- ・西区行事への積極的参加（西区 区民まつり、さくらフェスタ）、西消防署のイベント参加も

しました。

- ・西区園長会・子育て支援会議に参加し、情報共有や地域連携に努めました。

13 園内研修

自衛消防活動を充実させることから、有志職員が地域消防団に加入して6年が経過し、この間、経験豊富な職員も増え、そのスキルを園内研修に活かしてきました。とくに、救急救命法（CPR）研修は、看護師と応急手当指導員の資格を持った職員、西区消防団員、西消防署と連携を図り、より実践的な研修ということで午睡時におけるトラブル時の対応や誤飲対応研修を行いました。



（ホールでのCPR研修風景）

【令和元年度研修内容】（一般研修）

日 時	場 所	時 間	内 容	主 催	人 数
4月28日（水）	横浜みなとみらい保育園	9：00～ 12：00	コミュニケーション（グループディスカッション）	長幼会・主任会	39名（正職・非常勤含む）
6月12日（水）	西区役所地下AB会議室	15：00～ 17：00	保育・教育施設研修 生活・運動H30年度園内研修・リーダー育成研修事例報告会・研修打合せ	西区こども家庭支援課	1名
6月14日（金）	横浜みなとみらい保育園（ホール）	13：00～ 13：50	CPR研修	横浜みなとみらい保育園	8名（正職・非常勤含む）指導員3名
7月9日（火）	横浜みなとみらい保育園（ホール）	13：00～ 13：50	CPR研修	横浜みなとみらい保育園	9名（正職・非常勤含む）指導員3名
7月26日（金）	横浜みなとみらい保育園（ホール）	13：00～ 13：50	CPR研修	横浜みなとみらい保育園	7名（正職・非常勤含む）指導員3名
8月1日（木）	横浜みなとみらい保育園（ホール）	13：00～ 13：50	CPR研修	横浜みなとみらい保育園	6名（正職・非常勤含む）指導員3名
8月5日（月）	中野ZERO ホール小	10：00～ 16：00	子どもの健康と安全セミナー	全国保育園保健師看護師連絡会	1名
8月6日（水）	横浜市研修センター	9：00～ 17：00	甲種防火管理・防災管理	横浜市消防局 公益社団法人 横浜市防火防災協会	1名
8月7日（木）	横浜市研修センター	9：30～ 17：00	甲種防火管理・防災管理	横浜市消防局 公益社団法人 横浜市防火防災協会	1名
8月16日（金）	横浜西口保育園	15：00～ 17：00	保育・教育施設研修 生活・運動H30年度園内研修・リーダー育成研修事例報告会・研修打合せ	西区こども家庭支援課	1名
8月19日（月）	ホシザキ湘南㈱ 本社 1階ショールーム	15：00～ 16：30	日本食を学ぶ～調理実習・試食	横浜市社会福祉協議会 保育福祉部会	1名
8月21日（水）	ホシザキ湘南㈱ 本社 1階ショールーム	15：00～ 16：30	日本食を学ぶ～調理実習・試食	横浜市社会福祉協議会 保育福祉部会	1名
8月27日（火）	横浜市立平沼小学校	17：00～	幼保小職員交流研修	西区幼保小教育交流事業 実行員会	4名
8月28日（水）	横浜みなとみらい保育園（ホール）	13：00～ 13：50	CPR研修	横浜みなとみらい保育園	6名（正職・非常勤含む）指導員3名
9月25日（水）	横浜市研修センター	9：00～ 17：00	甲種防火管理・防災管理	横浜市消防局 公益社団法人 横浜市防火防災協会	1名
9月26日（木）	横浜市研修センター	9：30～ 17：00	甲種防火管理・防災管理	横浜市消防局 公益社団法人 横浜市防火防災協会	1名
9月27日（金）	横浜みなとみらい保育園（ホール）	13：20～ 19：30	エビエン講習（時間内で講習時間設定）	横浜みなとみらい保育園	42名参加

10月 1日 (火)	横浜市研修センター	9:30～ 17:00	甲種防火管理・防災管理	横浜市消防局 公益社団法人 横浜市防火防災協会	1名
10月 2日 (水)	横浜市研修センター	9:00～ 17:00	甲種防火管理・防災管理	横浜市消防局 公益社団法人 横浜市防火防災協会	1名
10月18日 (金)	横浜西口保育園	15:00～ 17:00	保育・教育施設研修 生活・運動H30年度園内研 修・リーダー育成研修事例報告会・研修打合せ	西区こども家庭支援課	1名
10月18日 (金)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	13:00～ 13:50	CPR研修	横浜みなとみらい保育園	7名 (正職・非常勤 含む) 指導員3名
10月29日 (火)	ウイリング横浜	13:30～ 16:30	子ども感染症について	横浜市社会福祉協議会	1名
11月14日 (木)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	13:00～ 13:50	CPR研修	横浜みなとみらい保育園	9名 (正職・非常勤 含む) 指導員3名
11月26日 (火)	ウイリング横浜	13:30～ 16:30	子どものアレルギーとアトピー性皮膚炎	横浜市社会福祉協議会	1名
12月19日 (木)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	15:00～ 17:00	保育・教育施設研修 生活・運動H30年度園内研 修・リーダー育成研修事例報告会・研修打合せ	西区こども家庭支援課	1名
12月23日 (月)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	13:00～ 13:50	CPR研修	横浜みなとみらい保育園	7名 (正職・非常勤 含む) 指導員3名
1月16日 (木)	南浅間保育園	15:00～ 17:00	保育・教育施設研修 生活・運動H30年度園内研 修・リーダー育成研修事例報告会・研修打合せ	西区こども家庭支援課	1名
1月22日 (水)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	13:00～ 13:30	CPR研修	横浜みなとみらい保育園	7名 (正職・非常勤 含む) 指導員3名
2月13日 (木)	横浜みなとみらい保育園 (ホール)	13:00～ 13:50	CPR研修	横浜みなとみらい保育園	6名 (正職・非常勤 含む) 指導員3名

【令和元年度】(キャリアアップ研修)

日 時	場 所	時 間	内 容	主 催	人 数
7月1日 (月)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	幼児教育	(株)ポピンズ	1名
7月3日 (水)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	幼児教育	(株)ポピンズ	1名
7月5日 (金)	ラジオ日本クリエイ 3階会議室A/B	10:00～ 16:00	乳児保育	(株)ポピンズ	1名
7月12日 (金)	川崎市産業振興会館	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ポピンズ	1名
7月17日 (水)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	幼児教育	(株)ポピンズ	1名
7月19日 (金)	ラジオ日本クリエイ 3階会議室A/B	10:00～ 16:00	乳児保育	(株)ポピンズ	1名
7月20日 (土)	ラジオ日本クリエイ 3階会議室A/B	10:00～ 16:00	乳児保育	(株)ポピンズ	1名
7月23日 (火)	川崎市産業振興会館	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ポピンズ	1名
8月 7日 (水)	川崎市産業振興会館	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ポピンズ	1名
8月18日 (日)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	食育・アレルギー	(株)ポピンズ	1名
8月21日 (水)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	食育・アレルギー	(株)ポピンズ	1名
8月27日 (火)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	保健衛生・安全対策	(株)ポピンズ	1名
8月28日 (水)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	保健衛生・安全対策	(株)ポピンズ	1名
9月 3日 (火)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	食育・アレルギー	(株)ポピンズ	1名
9月30日 (月)	ビジョンセンター横浜	10:00～ 16:00	障害児保育	(株)ポピンズ	1名
10月22日 (火)	ビジョンセンター横浜	10:00～ 16:00	障害児保育	(株)ポピンズ	1名
10月23日 (水)	ビジョンセンター横浜	10:00～ 16:00	障害児保育	(株)ポピンズ	1名
11月1日 (金)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ポピンズ	1名

11月7日(木)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ボビーズ	1名
11月14日(木)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ボビーズ	1名
1月7日(火)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ボビーズ	1名
1月14日(火)	ユニオンビル2階 セミナールームA	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ボビーズ	1名
1月14日(火)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ボビーズ	1名
1月21日(火)	ユニオンビル2階 セミナールームA	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ボビーズ	1名
1月21日(火)	神奈川県総合薬事センター 1階多目的ホール	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ボビーズ	1名
1月27日(火)	ユニオンビル2階 セミナールームA	10:00～ 16:00	マネジメント	(株)ボビーズ	1名
2月10日(月)	ビジョンセンター横浜 3階 301	10:00～ 16:00	乳児保育	(株)ボビーズ	1名
2月14日(金)	ビジョンセンター横浜 3階 301	10:00～ 16:00	乳児保育	(株)ボビーズ	1名
2月21日(金)	ビジョンセンター横浜 3階 301	10:00～ 16:00	乳児保育	(株)ボビーズ	1名

14 その他

- ・所得税法による中税務署の立ち入り調査が行われ、講師に対する源泉徴収の確認や借り上げ社宅補助金の個人所得などに関するアドバイスを受けました。
- ・横浜市子ども青少年局監査課による実地監査（一般指導監査）が11月に行われ、保育や運営に関するアドバイスを受けました。

また、この監査では指摘事項等なく適正な運営がなされているとの報告をいただきました。





令和元年度 玉川保育園 事業報告

定員 135名 (在籍 135 名)

1 施設運営状況

入所状況については、年度途中に1歳児の入退園があったが安定的な施設運営することができました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	816	68
女児	66	66	66	66	66	67	67	67	67	67	66	66	797	66
計	134	134	134	134	134	135	135	135	135	135	134	134	1,613	134

【利用者状況推移】（各月3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成24年度	9	23	25	26	26	26	135
平成25年度	9	22	25	26	25	26	133
平成26年度	9	24	26	26	24	26	135
平成27年度	9	24	25	26	26	24	134
平成28年度	9	24	25	26	26	25	135
平成29年度	9	24	25	25	25	26	134
平成30年度	9	24	25	26	26	25	135
令和元年度	9	23	25	26	25	26	134

今年は、天皇即位の礼に伴う大型連休が続くことから、川崎市より休日における一時預かりの要請があり、児童福祉施設として柔軟に対応ができるよう、職員と休日開園12名の受け入れ実施の検討を進めてきましたが、利用者の希望がなく休園措置となりました。

滋賀県大津の事故を受けて、園外保育についての経路・散歩マニュアルの見直し等、保育士と安全確認し周知徹底を図りました。行政機関と近隣の危険個所の確認をし、平間駅周辺の歩道に放置自転車が止めてあり、歩行者が道路を歩くうえで危険なことから、川崎市に再度放置自転車の撤去等の依頼をしました。大きな事故が起きたからではなく、「子どもの命を守るために」職員の安全意識向上に向け、会議での周知徹底だけではなく、実際に歩いて再点検、安全確認を行いました。

秋は台風15号の影響で小杉周辺が浸水被害にあいました。幸いなことに園児・保護者・職員に被害はありませんでしたが、数名の園児・保護者が近くの小学校の避難所で一夜を過ごした方もいました。園では正面玄関横の植栽が風で倒れ、植栽の修繕工事を行いました。台風19号時は風雨による送迎時の危険や交通機関の運休・遅延により、帰宅が困難になることが危惧されることから土曜保育の利用者に登園自粛の協力要請をして休園措置となりました。緊急時の子どもたちのより安全な受け入れ態勢や職員

の安全確認や体制、マニュアルなどの見直し、安全意識の向上に努めました。

10月から保育の無償化が始まり、玉川保育園では保護者負担金等の集金を現金での集金ではなく銀行口座引き落としを導入しました。保護者にも混乱なく、手続きについて理解と協力をいただきました。

年度末は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に日々追われましたが、保育園最後の行事、卒園式・謝恩会は縮小での開催とし、職員皆で卒園児26名を送り出すことができました。

令和元年度は、園外活動時における園児の安全確保や自然災害、新型コロナウイルス感染症拡大防止など日々の保育の安全性や、子どもの命を守ることにについて、改めて考えさせられる一年になりました。

2 利用者支援状況

個別対応が必要な子ども2名については、専門機関との連携を図り対応することができました。日々の対応は看護師・保育士が共通の対応ができるようマニュアルの見直しや園外保育の際の対応など万全の対応を取ることができました。

保護者会主催行事や園との共催行事も年間を通して円滑に進行できました。毎年、バザーの収益金を保育の充実の為に寄付金として頂いていますが、今年は公立保育園から引き継いだ竹馬が劣化して危険なため、竹馬を購入しました。これからも保護者会を通じて互いの共通理解を深め、協力し、より良い保育の場を作ることを目的に相互の協力体制の構築を図っていきたいと思います。

特色ある保育として、3歳児～5歳児でおはなし会（年10回）、体操教室（月2回）を実施しています。

今年度より5歳児がなつまつりで披露している「龍神太鼓」の和太鼓指導を取り入れ、バチ打ちのリズムや打ち方の決めポーズを新しくして披露することができました。

保育園での様々な行事を通して、子どもたちと保護者・職員一同で「思いやりのあるたくましい子（大人）の育成」の保育目標に沿った保育、関りができたと思います。

【なつまつり龍神太鼓・お神輿・5歳児】



【太鼓指導：5歳児】

3 職員の状況

職 名	平成31年4月1日 の職員数				年間退任・就任												令和2年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)						
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員		有期契約職員								正 規 職 員	有期契約職員				実 人 員 合 計	常 勤 換 算	
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B				契約職員		非常勤A		非常勤B		就 任 計	退 任 計		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B	常 勤 換 算			
						就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任										
園 長	1				1											1					1	1	
保育士	20	1		5	26	2	2					2		4	2	19	1	1	6	5	27	26	
看護師	1				1											1					1	1	
栄養士	3				3											3					3	3	
調理員	2			2	4											2			2	1	4	3	
事務員	1				1		1								1	1					1	1	
保育補助				2	2														2			2	
用 務																							
嘱託医				2	2														2		2	0	
計	28	1	0	11	40	2	3	0	0	0	0	2	0	4	3	27	1	1	12	6	39	37	

* 臨時職員の内、非常勤 A は正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤 B は正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

4 施設整備状況

開園 8 年目を迎え、保育室や給食室の設備備品の劣化が多く見られ、備品等の買い替えや修理が多くなってきました。子どもの安全を第一に迅速に対応しました。

- ・ Windows 7 の対応でパソコンの入れ替え整備。
- ・ 保育室固定棚・給食室設備の修繕、検食保管庫や備品の買い替え。
- ・ 地下倉庫電気・トイレの換気扇・水栓補修工事。
- ・ 台風15号・19号の影響で正面玄関横、園庭側の植栽に被害があり、修繕工事を実施。

(川崎市緑の保全及び緑化推進に関する条例31条の規定に基づいて植え替えを行いました。)



【台風直後の転倒した植栽】

5 年間行事報告

月 日	行事名	月 日	行事名
4月8日	はじめまして集会	10月16日	5歳児ゆうらくとの交流
4月20日	保育説明会・保護者会総会	10月17日	なかよし会バイキング
4月26日	子どもの日集会・お花見会食	10月25日	幼児バス遠足
5月10日	なかはらっ子シアター	11月1日	移動動物園
5月11日	懇談会・試食会	11月6日	歯科健診
5月17日	4・5歳児歩き遠足	11月9日	親子で遊ぼう会
5月31日	5歳児太鼓指導	11月16日	たんぼぼひろば（育児講座）
6月5日	歯科健診	12月21日	5歳児保育祭り
6月13日	プール開き	12月7日	チャイルドフェスティバル
6月19日	じゃがいも掘り	12月13日	おもちゃつき
6月22日	たんぼぼひろば（育児講座）	12月19日	クリスマスバイキング
6月28日	5歳児太鼓指導	12月20日	ひとみ座人形劇「金のがちょう」
7月5日	七夕集会	1月10日	お正月遊びの会
7月19日	なつまつりごっこ	1月17日	交通安全教室
7月20日	なつまつり	1月23日	お楽しみミュージックBOX
8月23日	5歳児ゆうらく交流	1月25日	5歳児懇談会
8月25日	お泊り保育	2月3日	節分の会
8月30日	プール納め	2月6日	おとえがたり
8月30日	ミケロ連続育児講座	2月13日	入園前健診
9月1日	総合防災訓練・引き取り訓練	2月15日	一時保育説明会・懇談会
9月7日	ひまわり会バザー	2月22日	なかよし会お別れ遠足
9月13日	敬老の日の集い	2月29日	0～4歳児懇談会
9月20日	4歳児ゆうらくとの交流	3月3日	ひなまつり会
9月20日	玉川中学校体験学習	3月14日	第8回卒園式
9月20日	ゆうらくとの交流	3月19日	お別れ遠足（夢見ヶ崎動物公園）
10月5日	第8回運動会	3月27日	お別れ会・進級式

※体操教室（3～5歳児）月2回、おはなし会（3～5歳児）年10回、・太鼓指導（5歳児）年3回



【移動動物園：園庭にて】



♪手作りケーキ♪



【3～5歳児誕生会：遊具室にて】

6 健康管理

- 4歳児視聴覚検査の実施。
- 除去食・既往症児の予薬の川崎市入所児童健康管理委員会への申請書の見直し。
- 嘱託医による定期健康診断、プール前健診、年2回の歯科検診の実施。
- 全職員、年1回健康診断・毎月細菌検査を実施。
- 感染症発生時は保護者に周知し、玩具の消毒など感染症が拡大しないよう衛生面への強化の実施。
- 感染症発生時は感染症情報収集システム（サーベイランス）を入力し、川崎市・中原区の保健所と連携をとり感染拡大防止に努めた。
- 厚生労働省・神奈川県・川崎市の指示のもと、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に努めた。

7 栄養管理

- ・1週目食べられなかった食材を翌週は少しでも食べられるように2週間サイクル献立の実施。
- ・栄養士・調理師による年間を通した食育指導や食事の発達と指導ポイントを基に、栄養士・看護師・保育士が連携を取り年間を通した食事指導を行うことができた。
- ・アレルギーフリーの献立作成や米粉を使ったものを取り入れ実施できた。
- ・年間の栄養指導計画の他、献立年間指導計画・食事の発達と指導ポイントを作成し、献立作成や年齢ごとの食事量、栄養指導、アレルギー児の個別配慮を実施してきました。
- ・非常食、ミルクの管理。
- ・米、ミルクは払い受け簿を付け無駄の無いよう管理する。
- ・離乳食ノートを活用し保護者とやりとりをしながら、子どもたちの咀嚼・嚥下状態を把握し、離乳食の進みを保護者と連携しながら進めてきました。

【保育士・看護師・栄養士による地域親子向け育児講座】



【栄養士によるクッキング指導】

【看護師による保健指導】

8 衛生管理

- 施設の衛生管理についての点検・整備・害虫駆除・布団乾燥の実施。
- 玄関入口、各保育室入り口にアルコールの手指消毒液を設置。
- 加湿空気清浄機を各クラスに設置し、クラスの湿度管理を実施。

9 安全管理

- 防災訓練 毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練の実施。
- かながわシェイクアウト（一斉防災行動訓練）参加の実施。
- 園舎・園庭の月1回の安全点検の実施。
- 月1回の事故チェックリストでの危険事項の確認・ヒヤリハットの書き出し職員に周知。
年度末には事故の分析表を作成して、事故の起こりやすい年齢、場所、時間、受傷部位等次年度の事故防止意識を職員で周知徹底した。
- 交通安全教室は地域保育園との合同での実施。
- 水の事故予防の為、プール時監視員を設置して安全確保の実施。
- SIDS予防のため、午睡時タイマーによる午睡チェックの実施。
- I P無線機の導入。災害時の本部への連絡や園外保育・避難訓練の連絡、安全確認等の実施。
- 普通救命救急講習、全職員の受講。

10 特別保育事業の実施

＜地域活動事業＞

- ・ 地域保育園と年間を通して5歳児が交流（和太鼓交流・ドッジボール交流）しました。
- ・ ゆうらくの高年齢者と和太鼓演奏や運動会のリズム体操を披露し、交流をしました。敬老の日は園児祖父母を保育園に招待し園児と交流を深めました。
- ・ 園庭開放、移動動物園、運動会、観劇等、地域の親子を招待し交流を深めました。
- ・ 月1回の地域親子向けの子育てひろばの開催、年2回の育児講座の開催。玉川地区わいわいひろばへの保育士の派遣保育を実施し、地域親子との交流の場や育児相談としての場を広げました。
- ・ 中原区役所地域連携・玉川地区民間保育園と連携してベビーミミケロ連続育児講座を実施しました。
- ・ 11月から2月の期間、地域親子向けに保育園の体験保育を実施しました。
- ・ 中丸子南緑道を守る会の方と緑道の花植えを年1回行いました。

＜一時保育事業＞

- ・ 年間を通して緊急一時・非定利用で延べ人数1,986人の利用がありました。
- ・ 一時的な利用だけではなく、区の児童家庭課からの地域親子の見守りが必要な家庭の利用者も受け入れ、保健師、関係機関と連携して対応しました。

＜延長保育事業＞

- ・ 18時～20時までの延長保育の受け入れをしました。19時以降利用の希望者には夕食の提供をし

した。

<障害児保育事業>

- ・ 3歳児軽度、5歳児重度の受け入れを実施。関係機関、家庭と連携をとりながら個別の指導計画を立て保育を進めてきました。5歳児は大阪へ転居し、児童要録、引継ぎ等西宮教育委員会と連携を図りました。

<家庭的保育事業>

- ・ 家庭的保育室「やまんち」の連携保育園として、給食の提供・交流保育・合同内科健診・歯科検診・代替保育・卒園児の優先受け入れを行いました。

<その他>

実習生・ボランティア・職業体験

- ・ 川崎工科高校学生体験学習の受け入れ
- ・ 横浜創英大学こども教育学部実習生の受け入れ 実習実日数（10日）実人員1名
- ・ 橘高校生ボランティア 3名受け入れ
- ・ 玉川小学校町探検小学生 8名受け入れ
- ・

【世代間交流】



【緑道を守る会の方との花植え】



1 1 保護者に向けて

- ・ 園たより・ほけんたより・給食たより・クラスたよりの発行
- ・ 保育参加・保育参観の実施
- ・ 保護者会会長、4役員を中心とした役員会への参加、共催行事の実施
- ・ 年度末の保護者アンケートの実施。保護者の意見・要望等、職員と日々の保育を振り返り次年度の保育への課題やより良い保育の実施へ活かすため周知徹底をしました。

1 2 職員・園務

- ・ 育児休業から復帰した職員と新職員が2名入ったが正規職員の充足にはならず、協力しながら行事等進めました。
- ・ 社会福祉法人長幼会階層（キャリア）別に求められる資質と自己評価制度を導入し、職員の目標と

次年度への課題等を園長と面談をしながら共有し進めることができました。

【研修実績】

日 時	場 所	内 容	主 催	人 数
5月22日	川崎市社会福祉協議会	保育内容研修「明日からの保育にすぐ活かせる～遊びを通して育む幼児の体作り」	中原区保育総合支援	1名
5月30日	中原区役所	幼保小連携担当者連絡会	中原区保育総合支援	1名
6月2日	中原区役所	発達コーディネータープラスワン	白峰学園横浜女子短期大学 保育センター	1名
6月6日	中原区役所	公開保育「気になる子、支援の必要な子のカンファレンス」	中原区保育総合支援	1名
6月22日	川崎市役所	保育園における食物アレルギー児の対応とエビパンの使い方	川崎市こども未来局 子育て推進部	1名
6月28日	中原区役所	愛着が大切な保育の意義	特定非営利活動法人グローイン・グラマ	1名
7月3日	白峰センター	川崎市療育センターの機能紹介	川崎市中央療育センター	1名
7月6日	川崎市役所	成長曲線から学ぶ子どもの成長 「川崎病の現状」	中原区保育総合支援	1名
7月6日	中原区役所	食の安全について ～「食品衛生に関する情報」	中原区役所保健福祉センター	1名
7月10日	日本保育協会	気になる子のインクルーシブ保育	日本保育協会	1名
7月19日	川崎市役所	明日の保育に活かせるワクワクドキドキ研修	川崎市こども未来局 子育て推進部	1名
7月19日	川崎市役所	マネジメントの理解	かながわ県保育士エキスパート等 研修	1名
7月19日	川崎市役所	組織目標の設定	かながわ県保育士エキスパート等 研修	1名
7月29日	川崎市役所	リーダーシップ	かながわ県保育士エキスパート等 研修	1名
7月31日	川崎市役所	栄養に関する基礎知識	川崎市こども未来局子育て推進 部 スキルアップ研修	1名
8月6日	川崎市役所	食物アレルギー疾患の理解	川崎市こども未来局子育て推進 部 スキルアップ研修	1名
8月25日	中原区役所	給食施設における食品ロスの削減について	中原区役所保健福祉センター	1名
8月27日	川崎市役所	保育園におけるアレルギー対応ガイドライン	川崎市こども未来局子育て推進 部 スキルアップ研修	1名
8月29日	中原区役所	食育計画の作成と活用	中原区保育総合支援	1名
8月30日	中原区役所	これから始まる地域子育て支援	中原区保育総合支援	1名
9月5日	中原区役所	中原区年長児担当者連絡会	中原区保育総合支援	1名
9月6日	中原区役所	働きやすい環境作り	中原区保育総合支援	1名
9月13日	川崎市役所	食に関する事例検討を多職種でグループ協議し 災害非常食等を考える	川崎市こども未来局 子育て推進部	1名
9月18日	中原区役所	障害児保育	中原区保育総合支援	1名

9月20日	中原区役所	子どもも保育士も楽しくなる保育	中原区役所保健福祉センター	1名
9月26日	幸区役所	小児の突然死について	幸区役所保育総合支援	1名
9月26日	中原区役所	災害備品非常食について	中原区保育総合支援	1名
9月30日	中原区役所	人材育成	中原区保育総合支援	1名
10月16日	中原区役所	中原区感染症対策講演会	中原区役所衛生感染症対策係	1名
10月18日	川崎市役所	自我の芽生えと社会性	川崎市こども未来局子育て推進部 スキルアップ研修	1名
10月23日	川崎市役所	発達が気になる子どもたちへの理解	川崎市こども未来局子育て推進部 スキルアップ研修	1名
10月30日	エポック中原	川崎市保育研究大会	川崎市・川崎市社会福祉協議会	1名
11月5日	川崎市役所	乳児保育～乳児保育の発達に合わせた保育内容～	川崎市こども未来局子育て推進部 スキルアップ研修	1名
11月12日	中原区役所	発達に合わせた調理形態の工夫	中原区役所保健福祉センター	1名
11月14日	川崎市役所	乳児保育の意義 乳児保育の環境	川崎市こども未来局子育て推進部 スキルアップ研修	1名
11月18日	川崎市役所	保育実践 幼児の環境との関わりと身体を使った遊び	川崎市こども未来局子育て推進部 スキルアップ研修	1名
11月20日	中原区役所	保護者との連絡で大切にしたいこと～発達の気がかりを伝えるポイント	中原区保育総合支援	1名
11月26日	川崎市役所	子どもの生活と健康	川崎市こども未来局子育て推進部 スキルアップ研修	1名
11月27日	中原区役所	0・1・2歳児担当者連絡会	中原区保育総合支援	1名
11月28日	川崎市役所	0・1・2歳児の保育における環境構成と子どものかかわり方	川崎市こども未来局子育て推進部 スキルアップ研修	1名
11月28日	中原区役所	子どもの音楽遊び	中原区保育総合支援	1名
11月29日	中原区役所	看護師研究会報告及び講演会	中原区保育総合支援	1名
12月3日	川崎市役所	乳児保育への適切な関わりへ アタッチメントの重要性と保育士の役割	川崎市こども未来局子育て推進部 スキルアップ研修	1名
12月10日	中原区役所	安全でおいしく楽しい食事の理解とアプローチ	中原区保育総合支援	1名
12月10日	中原区役所	言葉で遊ぶ・物を使った遊び	中原区保育総合支援	1名
12月13日	中原区役所	心の土台は遊びの中で育つ	中原区保育総合支援	1名
12月18日	川崎市役所	乳児期及び幼児期初期の発達について	川崎市こども未来局子育て推進部 スキルアップ研修	1名
1月8日	川崎市役所	乳児保育の指導計画・記録及び評価	川崎市こども未来局子育て推進部 スキルアップ研修	1名
1月14日	川崎市役所	マネージメント	かながわ県保育士エキスパート等研修	1名



令和元年度 新井小学校放課後キッズクラブ 事業報告

はじめに

放課後キッズクラブは、小学校の施設を利用し、「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所を提供することを目的とした事業です。新井小学校放課後キッズクラブは、保土ヶ谷区が選定し長幼会が運営を行っています。平成27年度に横浜市との第1期委託契約（5年契約）が終了し、今年度は第Ⅱ期(令和2年度まで)としての5年目を終えることができました。

放課後キッズクラブの主たる活動の場は、学校の施設を利用しており、昨年度も新井小学校や地域の方々の協力を得て、改善に取り組んできました。その結果、一層、専用室や補助の解放室の利用が子どもたちにとって快適なものとなりました。

また、慢性的な人手不足のなかで、職員の熱意や、学校、地域の一体感が利用者、保護者の方々にキッズクラブの活動が理解され信頼されてきたことを実感しています。引き続き、過去に積み上げた実績を基に職員、保護者、学校、地域が一体となり青少年健全育成に寄与していきます。

1 運営理念

長幼会は、4か所の保育園とキッズクラブ1か所を運営しています。「思いやりのあるたくましい子の育成」を保育目標としていますが、保育園の延長線上にキッズを位置づけ、家庭・学校・地域の連携を密に子どもたちの健全育成に貢献してきました。

2 運営方針

- ・ 子どもたちが、元気に楽しい日々を過ごせるようにプログラムの充実を図り、様々な体験を通して自他共に成長しあう場になるよう努めました。
- ・ 子どもたちの健やかな成長のために、職員の意識・資質の向上を図るとともに、人権の尊重、(いじめの撲滅) プライバシーの保護に努めました。
- ・ キッズクラブを「遊びの場」「学びの場」「憩いの場」ととらえ、日々子どもたちが充実した時間を過ごせるよう努めました。

3 事業の目的

- ・ この事業は、子どもたちが通い慣れている新井小学校の施設を利用して、異年齢間の遊びを通じた交流を促進し、児童の創造性、自主性、社会性などを養うことを目的としています。
- ・ この事業は、児童福祉法の放課後児童健全育成事業として、保護者が労働等により放課後当該児童が帰宅する時間帯に家庭にいない児童に対し、授業終了後に適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的とします。

4 活動場所

- ・キッズ専用室及び解放室、図工室

※その他学校に支障のない範囲で体育館、校庭等を使用しました。

5 事業の内容

- (1) 児童の健康管理
- (2) 遊びの活動への意欲と態度の育成
- (3) 遊びを通して自主性、社会性、創造性を養う
- (4) 児童の活動状況の把握と家庭との日常的な連絡及び情報交換
- (5) 家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援
- (6) 保護者との連携による親子参加活動
- (7) 地域の子育て支援に関する活動
- (8) その他、児童の健全育成に関する必要な活動

6 利用料について

放課後キッズクラブの利用については、次の費用を徴収しました。

項 目	利用区分 1	利用区分 2
利用料	無料 ※午後 5 時以降も利用する場合は 1 回 800 円	月額 5,000 円 ※利用料の減免制度が適用され る世帯は月額 2,500 円
傷害見舞金制度負担金	児童 1 人につき年額 500 円	
おやつ代	なし ※午後 5 時以降も利用する場合は 1 回 100 円	実費相当額 1 回 100 円
材料費等	実費相当額	

7 在籍児童数・登録数・参加率

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
令和元年度在籍数	49	52	58	57	62	83	361
令和元年度登録数	49	45	43	30	35	27	229

【令和元年度登録率 63.5%】 【平均児童利用数 75.1 人】

8 開設時間

授業があった日	授業終了～19:00
授業がなかった日（土曜日・長期休業日）	8:30～19:00

9 月別キッズ開設日数（ ）は土曜日開設日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
24 (4)	22 (3)	24 (4)	26 (4)	26 (5)	23 (4)	286 日 (47 日) 年間実施日数
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
24 (3)	23 (3)	24 (4)	22 (4)	23 (5)	25 (4)	

10 職員構成

(1) 職員構成

職 種	勤務時間
主任 (常勤) 1 名	1 日 6 時間勤務 週 5 日勤務 (週 30 時間)
副主任 (常勤) 1 名	1 日 5 時間勤務 週 5 日勤務 (週 25 時間)
非常勤職員 12 名	平日 4 時間勤務 週 1 日～4 日 土曜・休業日 4 時間～8 時間勤務

(2) 健康管理

- ・健康検査（胸部レントゲン撮影） 年 1 回実施しました
- ・細菌検査（検便） 毎月 1 回実施しました

(3) 企画会議

- ・キッズ運営全般について、企画協議しました。
- ・参加者・主任、副主任、本部長、本部顧問、千丸台保育園園長、児童専任教師
- ・毎月職員会議の前週に開催いたしました。 10:30～11:30

(4) 職員会議

- ・企画会議で協議した事項の報告を中心に、職員の意見を聴き、共通理解を図りました。またイベントの計画書をもとに各イベントの概要を職員共通で把握するようにしました。
- ・参加は、キッズの全職員及び本部長、本部顧問（令和元年7月より本部顧問除く）
- ・毎月第二月曜日 13:00～14:00 に行いました。

1 1 主な行事（プログラム）

月	実施内容（プログラム）
4	手作りマスク・キッズシアター・給食袋作り・わたがし作り・ヘアアレンジ教室・宝探し・ベイブレード作り
5	マイクリアファイル作り・ポケットティッシュ入れ作り・クレープ屋さん・防災教室・お守り作り・オリジナルメモ帳作り・テレミン体操出演・タイルコースター作り・空気鉄砲作り・キッズシアター・アイロンビーズ
6	クッキーパーティ＆園芸大会・うちわ作り・キッズシアター・パラパラ漫画で動画作り・SDW パフォーマンス・ランチョンマット作り・おにぎらランチ会・メモスタンド作り・レーシングカー作って遊ぼ・缶バッジ作り・流しそうめん
7	七夕かざり・プラバン作り・キッズシアター・オリジナル紙袋作り・YOUTUBER になろう・キッズチャレンジ・虫取り大会・第一回スマブラ王決定戦・第一回マリカー王決定戦
8	ケアプラザ訪問・図工週間・きもだめし（上菅田キッズ合同）・おおそうじ・もらってうれしいカード作り・キッズチャレンジ・下敷き作り
9	せっけん作り・YOUTUBER になろう・避難訓練・キッズ縁日・キッズシアター・キッズチャレンジ・キッズ秋の運動会
10	スライム作り・図工週間・キッズモンスターでポケモンカードバトル・将棋遊び・収穫祭・キッズチャレンジ・キッズシアター・ハロウィンパーティー
11	遠足顔合わせ・YOUTUBER になろう・フランクフルと屋さん・キッズチャレンジ・L'et PLAY ボウリング（遠足）・避難訓練・レッツバスケットボール
12	万年カレンダー作り・クリスマスキャンドル作り・図工週間・キッズチャレンジ・キッズシアター・クリスマス会・第二回マリカー王決定戦
1	第二回スマブラ王決定戦・書初め・タコ作り・ワッフル屋さん・YOUTUBER になろう・スキージャンプ記録会・キッズチャレンジ・キッズシアター
2	太鼓の達人を作るどん・避難訓練・チョコ作り・キッズシアター・図工週間・キッズチャレンジ・ピンクシャツ DAY
3	実施せず（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

1 2 保護者関係

- ・保護者会規約に沿って年 2 回（9 月・2 月）開催、感想、要望等意見交換しました。（保護者会開催報告書）を作成し区子ども家庭支援課へ提出）

1 3 学校との連携

- ・授業参観へのキッズ職員の参加と教職員のキッズ行事への参加
- ・情報交換の為キッズ職員会議へ校長先生または児童専任の先生に参加していただきました。
- ・主任と副校長が、日常の連絡、報告等密に行いました。

1 4 地域関係

- ・地域育成者交流会（地域主催）参加（1 月・6 月 キッズ職員、法人）
- ・新井小学校放課後キッズクラブ評議員会規約に沿って年 2 回開催しました。

1 5 防災対策・防犯対策

- ・避難訓練等
- ・火災避難訓練
- ・地震避難訓練
- ・防犯訓練
- ・下校訓練
- ・AED 講習（職員上級救命講習受講）
- ・定期的な下校指導を実施いたしました。

1 6 広報関係

- ・日常の活動をビデオ等で撮影し、保護者会等で視聴していただきました。
- ・キッズ便りを発行（月 1 回）いたしました。

1 7 その他

- ・校外遠足で 11 月に川崎グランドボウル（ボウリング）に行きました。
- ・17：00 以降のクラブ活動は 30 年度より継続しました
【月曜：習字】【火曜：そろばん】【水曜：体操】【木曜：そろばん】【金曜：スポーツ】
- ・がやっこ学び育み事業（キッズアカデミー）毎週水曜日に開催し、2 年生から 6 年生が参加しました。講師は 1 名。
- ・新井中学校生徒の夏季休業中のボランティア活動の受け入れを行いました。
- ・夏季休業中に白山高校生徒のボランティアを受け入れました。

- ・地域の活動として、駅伝大会やお祭りに参加するとともに近隣の愛護会の方にキッズクラブのイベントに参加して頂きました。



11月後半は
雨の日が多く
外で遊ぶ日が
少なかったね



12月 キッズだより



令和1年12月2日
社会福祉法人 長崎会
新井小学校放課後キッズクラブ
主任 奥野 侑
TEL 045 (382) 3051
cyoyoukai_kids@yahoo.co.jp



ボウリングは参
加者が多く全員の
写真を掲載出来
ませんでした。



今年もお世話になりました。

日を増すごとに寒さが増してきました。いよいよ12月に入り今年も残すところ1か月です。2019年やり残したことや達成したことなど様々な想いが駆け巡ると思います。子どもたちと1年を振り返り、また前に進むことは今からでも挑戦する。嬉しいことでは来年に向けて準備するなど、残りの時間をより有意義なものにしていきたいと考えております。12月から年明けは子どもたちにとって、楽しいこと尽くです。クリスマスにサンタさん、冬休み、お年玉などイベントがいっぱいです。うらやましい。キッズクラブでも楽しい時間を過ごしてほしいと、12月はクリスマス会がこさいます。年内最後のピックアップイベントです。ぜひ多くの子にたちに参加していただき、今年1年を楽しく締めくくりたいと思います。現在風邪やインフルエンザが流行中です。ご家庭でもお子様の体調にご配慮いただきますようお願い致します。





11月の様子





















キッズシアター
11/21 (木)

「パイプ」を上級しました。

感想

1年生
プタさんがかわいかった

【新井小学校放課後キッズクラブ キッズ便り】

令和 2 年 6 月 1 8 日
社会福祉法人長幼会
理事長 水野 恭一